



家政學序

教育者何。造有用之人也。若由教育而造無用之人。不如無教育也。不獨男子為然。女子亦不得不然也。然欲為教育。必不得不藉於文藝。文藝之弊。率流於虛驕。虛驕之

実践桜会行事日程

平成 25 年

- 4/6 (土) 春季委員会(於:渋谷)
- 5/19 (日) 定時總會・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)
- 6/12 (水) 法律相談スタート
- 6/15 (土) 実践キャリアネット總會
- 8/9 (金) ~ 8/18 (日)
実践桜会会館夏期休館
- 9/7 (土) 公開市民講座、地区懇談会開催
(大学・短期大学後援会 / 実践桜会共催) 於:仙台
- 10/ 初旬 「なよたけ情報版」No. 19 発行
- 10/5 (土) 秋季委員会(於:渋谷)
- 10/8 (火) 学祖祭(於:実践桜会会館)・
護国寺墓参
- 10/19 (土) 実践キャリアネット在学生支援
(日野)
- 10/26 (土)・27日(日)
実践桜会バザー (中高とさわ祭)
- 11/9 (土)・10 (日)
大学・短大「常磐祭」参加
- 11/16 (土) 実践キャリアネット第 1 回セミナー
- 12/7 (土) 臨時總會
- 12/26 (木) ~ 1/5 (日)
実践桜会会館冬期休館

平成 26 年

- 1/12 (日) 初春歌舞伎観劇会
- 1/13 (月) 祝・成人の会
- 2/15 (土) 実践キャリアネット第 2 回セミナー
- 4/ 初旬 「那与竹」第 77 号発行
- 5/18 (日) 定時總會・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)

下田歌子著『家政學』(明治 26 年 4 月 28 日発行)に寄せられた序文

(Message)

実践女子学園の将来に向けて

実践女子学園理事長
井原 徹



学園は2019年に「創立120周年」を迎えます。その年に照準を合わせて、全ての営みを活発化しています。

その一つが、施設設備(ハード面)における充実であり、二つ目は建学理念の再確認と再構築(ソフト面)です。

ハード面の充実に関しては、①渋谷キャンパスに2014年1月竣工予定の「大学・短期大学棟」を建設中です。これは「創立120周年記念整備事業1期整備計画」として行われています。17階と9階のツインビルである新棟には、文・社系大学院、文学部、人間社会学部、短期大学の日本語コミュニケーション学科および英語コミュニケーション学科の学生約2400人が学び、非常勤を含めて教職員約350人が、日野キャンパスから渋谷キャンパスに移ります。②日野・大坂上キャンパス整備は、「創立120周年記念整備事業2期整備計画」として推進することになっています。文学部、人間社会学部等が渋谷キャンパスに移った後の、生活科学部のためのハード面の整備・充実と、ソフト面での充実がこれにあたります。③これらと並行して、短期大学が全て移転した後の、日野・神明キャンパスの再活用計画も立案の緒につきました。現在は青写真を作成中です。

ソフト面の充実に関しては、当学園の創立者である下田歌子先生の業績・思想等をもう一回掘り起こしかつ集大成して、先生がこの学園を創った理念=建学の理念を再構築し、教育研究の土台(精神的バックボーン)にすることを核としています。

私立大学は、創立者の建学の理念を大切に、それを特徴とし活動の中心に据えて行くことによって、社会から存在の意義を認められます。つまり、実践女子学園の特徴は何なのか、実践女子学園はどういう人材を育てようとしているのか、実践女子大学に入学するとどう

いう良いことがあるのかといったことを明らかにして、社会に発信していくことが大切であると考えています。

私立大学は正に「志立大学」でなければなりません。

理事会は、本年5月末に「実践女子大学・実践女子短期大学教学グランドデザイン策定会議」を発足させました。委員21名には、実践桜会から有賀暁子さん、石田真実子さんのお二人に参加していただいております。任期2年の長丁場ですが、理事会は、同会議に次のとおり諮問を發しました。

「実践女子大学・実践女子短期大学が、将来にわたって社会的責任を果たしながら、如何に学生を確保し、教育・研究を進展させていくかという課題に向け、中期的なスパン(今後10年程度)での教学面の方向性や施策を議論していただきたい。」

理事会は、教職員、卒業生が議論した将来への展望をしっかりと聞き、理事会としての職責をしっかりと果たして行く所存です。

実践桜会の皆様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

(いはら とおる)

(Message)

実践女子大学・短期大学の今

実践女子大学・実践女子短期大学 学長
田島 眞



実践女子大学・短期大学の学長に就任してから早4ヶ月が経ちました。この間の出来事、これからについて少しお話ししようかと思います。

1. 実践入門セミナーと「がくたび」

実践女子大学・短期大学では、5年前からキャリア教育の一環として、初年次に実践入門セミナーを必修としています。これは、大学(短期大学)での学び方をはじめとした、4(2)年間の過ごし方を専任教員が実践的授業で指導するものです。

履修の仕方や情報検索の方法といった、ごく入門的なものから、詐欺に遭わないためにといった実用的な話まで様々ですが、その中に学長講話という時間が設けられています。学長講話は、入学した学生に学園の「そもそも」を知ってもらうために設けられています。内容は、学祖下田先生の生涯とその生き様を紹介するものです。幸い、学園ホームページに詳しい先生の履歴と学園の歴史が掲載されていますので、それを用いて講義いたしました。

私が担当するのは初めてなので、果たして学生にどう捉えられるか心配だったのですが、お蔭様で好評のようでした。というのは、夏季休暇を利用して学祖生誕の地である岩村を訪問する学生向けの小旅行があります。学長職も同行いたしますので「がくたび」と名づけています。この申込み学生数が、昨年より多かったのです。学長講話の効果だと自負しております。

2. 生活科学部現代生活学科の届出設置が受理

生活科学部に新学科として現代生活学科を文部科学省に申請中でしたが、6月に届出設置が受理されました。これにより平成26年度より新学科を開設できることと

なり、早速学生募集に入ります。

現代生活学科の教育目標は、「メディア」を武器として、広い意味での「環境」に取組み、「自立」し得る女性を育てるというものです。簡潔に言えば、ビジネスができる女性の育成です。学祖の教育理念が、「品格高雅」「自立自営」ですので、それを具現するものです。

3. 2校地化が目前

現在、学園が推進している創立120周年記念整備事業における、渋谷校舎の建設も外観はほぼ完成し、現在低層階より内装工事に着手しております。来年1月末に完成し、学園に引き渡されます。そろそろ、その完成を祝う各種行事予定が決まり始めております。実践桜会理事長をお招きしてのテープカットから、卒業生全員に参加の声をかけするホームカミングデーまで、1年がかりの行事が続きます。まだ来年のことですが、その機会にはぜひお出かけください。

また、同事業の2期整備計画に位置付けられる大坂上校地の校舎改修、神明校地の校舎除去もいよいよ来年4月以降本格化いたします。来年から2年間は、日野は、少々騒がしくなりますが、授業に支障が出ないよう努力していきたいと思っております。渋谷校地に負けないよう日野校地もリニューアルした姿をお目にかけたいと思っております。

創立120周年を目指して、着々と学園は発展しております。桜会のみならず、引き続きご支援を賜れば幸いです。(たじま まこと)

(Message)

実践桜会のバトン

一般社団法人教育文化振興実践桜会 理事長

浦上 淳子



1901年にスタートした実践女子学園の同窓会は名称は変わりましたが、多くの先輩方が脈々と支え守って現在に至っています。

昨年、私は実践桜会理事長という大役をお引き受けした時点で、責任と義務を覚悟いたしました。それは「実践桜会の継続にベストを尽くす」ということです。

私共理事会をリレーの選手とお考え下されば、分り易いと思います。前任者から手渡されたバトンを次の選手に確実に手渡す。スピードを問われると困りますが、絶対に手離さず、次に繋ぐことが大切と考えています。

しかし、リレーといっても、よく整備され前方がよく見えるトラックを走るわけではありません。時代という道を駆け抜けなければならないのです。

昨日は何の問題もなかった事が、今日は直ちに変えなければ進めない道もあるのです。例えば社団法人から一般社団法人へ、管轄が文科省から内閣府へ変わるという具合です。ストレートで楽な道を進みたいと思っても思い通りに参りません。そして、これから私共が直面するものが代議員制度です。

実践桜会が一般社団法人として安定した運営を続けるためには、正会員を確保し、会員の皆様には年会費を納入していただくと同時に、総会に出席していただくか委任状を出していただくかのどちらかを必ず実行していただくことが第一条件なのです。出席者と委任状を合せて過半数に達しなければ、総会は成立せず、何事も議決することが出来ません。存続が出来ない危機に陥ります。この為、歴代の理事会では委任状集めに大変な苦勞と努力を続けてきましたが、今回も厳しさは変わりません。

これに関しては何処の同窓会でも同様に苦戦を強いられていることは文科省や内閣府でも認識していて、当会

も10年程前から代議員制への移行を勧められています。

現在、同じ女子大の同窓会では次々と代議員制へ転じている中で、まだ数年は大丈夫ではないかとやり過ごすことは、後に続く方々に申し訳なく、いずれ対処しなければならないならば「今でしょ！」とこの難題に取り組むことにいたしました。

目下、秋田弁護士のご指導のもと実践桜会に相応しい代議員制度を検討中でございます。先生からもその趣旨を寄稿して下さいましたので、お読みいただいでご理解下さいますようお願い申し上げます。

一年半の理事長職を経験してつくづく思いましたことは、とにもかくにも会員の皆様のご協力無くしては何も出来ませんし、一歩も前に進めないということです。会員のお一人お一人が、母校実践女子学園に学び卒業したという想いで実践桜会を支えていただければありがたいと存じます。

ゴールテープはありませんが、私達は走り続け、必ずバトンを次へ手渡して参ります。(うらがみじゅんこ)



実践桜会会館を会合などに積極的にご利用ください



一般社団法人教育文化振興実践桜会
平成25年度 定時総会

平成25年度 実践桜会 定時総会報告

平成25年度定時総会が5月19日(日)セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。正会員数6,577名、出席者数136名、委任状総数3,162通で、定足数を満たしましたので、定款第17条により、総会は成立。下記議題が審議承認されました。

議題

1. 平成24年度事業報告の件
2. 平成24年度決算書承認の件
3. 公益目的支出計画実施報告書承認の件
4. 監査報告
5. 平成25年度事業計画及び予算の件
6. 代議員制に関する件



平成25年度 臨時総会 のお知らせ

日時:12月7日(土)午後1時～4時
会場:実践桜会会館 101～103号室

- 議題
- ①平成25年度収支補正予算案
 - ②平成26年度事業計画・収支予算案
 - ③代議員制について

本年の臨時総会は、代議員制に向けて会員の皆様のご理解を賜りた

く、説明及び質疑応答とさせていただきます。

*出席される方は11月20日(水)までに事務局にお知らせください。欠席の方は必ず同封の委任状のご返送をお願いいたします。

シェイクスピア劇「リア」で初めての男役・リア王を演じる



渡辺美佐子

Misako Watanabe 女優

いまも一生懸命、夢中で生きています

80歳になられた今も現役の女優さんとして、輝きを放ちつづける渡辺美佐子さん。お姉様も通われたという実践女子学園時代の思い出、俳優としての歩み、原爆で亡くなった同級生に思いを馳せる朗読会、そして明日を生きる糧など、お話しは尽きません。

活発でやんちゃだった少女時代

渡辺美佐子さんは5人兄妹の末っ子として東京で生まれ、育ちました。さて、どんな少女時代を過ごされていたのでしょうか。

生まれたのは、広尾にある日赤病院の近く。当時はとうかい斧町といいましたが、いまは西麻布ですね。日赤の産院に広い庭がありまして、私たち

の恰好の遊び場でした。ドッジボール、ゴム飛び、縄とびが大好き。活発でやんちゃな女の子でした。

父は松本(長野県)の出身で、面白い人でした。信じられないかもしれませんが、布団を下に敷いて、2階から櫓のように階段を滑り降りて遊んでくれました。子どもたちの身長に合わせて、弓を作ってくれたこともあります。そういうことを楽しむ家風でした。

【プロフィール】

1932年東京都生まれ。実践女子学園高等学校卒業後、俳優座養成所(第3期)に入り、卒業後は劇団新人会に入団。プレヒト「家庭教師」で初舞台を踏み、1953年「ひめゆりの塔」で映画デビュー。退団後は、映画、舞台、テレビドラマなどで幅広く活躍。井上ひさし作の一人芝居「化粧」は国内外で公演を行い、ライフワークとなる。最近では、映画「舟を編む」に出演したほか、佐藤信演出の3人芝居「リア」(シェイクスピア劇)では男役リア王に挑戦し、話題となる。母校の創立者、下田歌子の故郷・旧岩村町(現岐阜県恵那市)の委嘱で女城主もつとめている。

戦争の末期、まわりは学童疎開でいなくなります。私と姉は母のそばを離れませんでした。昭和20年春の東京大空襲はすさまじいもので、長野の篠ノ井に移りました。篠ノ井での住まいは、町長さんの家の書庫。書庫には世界名作全集や日本文学全集がずらりと並んでいました。私は体を動かすことと本を読むことがとても好きで、この疎開時代がその後の自分をつくったのかもしれない。

芥川也寸志さんに教わり、コーラス・コンクールに出場!

疎開先から東京へ戻り、終戦の年に箕小小学校を卒業。渡辺さんは、お姉様も通われていた実践女子学園に入学します。

疎開する前に、姉と実践女子学園を訪ねました。「質素で堅実で品格のある女性の教育を建学の精神とする」という学園の理念は、父の教育方針でもありました。実践までは家から歩いて15分ほど。アスファルトの校庭に、空襲で落とされた焼夷弾がまるで「つくしん坊」のように何本も突き刺さっていて、茫然と立ち尽くしました。

入学後はテニスばかりしていましたね。当時、テニス部を引っぱっていらしたのは、学園で教鞭を執られたばかりの阿原先生です。ボールが見えないほど暗くなるまで熱中していました。

そんなある日、父は私にバイオリンを習わせようと、駅でバイオリンを持っていた音大生をつかまえてきます。その学生さんが、あの芥川也寸志(作曲家、指揮者)さん。2年生の時、コーラスのコンクールに出場することになり、バイオリンを習っていた私が指揮をとることになり、芥川さんに教わりました。曲目は「ハレルヤコーラス」と「ドナウ川のさざ



俳優座養成所時代の渡辺さん

なみ」。後年(1958年)、映画「果てしなき欲望」でブルーリボン助演女優賞を受賞した際、芥川さんも同時受賞され、再会を果たしました。とにかく、実践時代は楽しい思い出ばかり。先日、クラス会にも参加しました。

役作りのために断食、俳優にめざめる

俳優座に入ることは、お父様には内緒だったとか。養成所時代、渡辺さんは映画「ひめゆりの塔」に抜擢されます。

女優になるとは思ってもいませんでした。3年間、俳優座にいても、頑張っただけという気もなくて、ただ楽しく遊んでいたような気がします。養成所2年で「ひめゆりの塔」(今井正監督)に抜擢されました。東映大泉のセット撮影で、最後のシーンのラッシュを今井監督と一緒に観たときのこと。私は「これでは嫌だ」と感じました。

悲惨な沖縄戦を考えると、こんなにふっくらとした顔ではおかしいと思ったのです。兄から、戦時中、友人が徴兵逃れに醤油を飲んでいただけという話を聞き、試してみましたが、とても飲めたものではありません。それで断食をしました。一週間では痩せませんでした。目がくぼんだくらい。監督から「目の光がよかった」といわれ、少しずつ俳優というものがわかってきました。

俳優座卒業後は新人会に入りました。まだ創立1年目でしたので、すぐ主役級の役をいただき、徐々に俳優に目覚めていきました。小さい劇団です。小沢昭一さんと2人で日活と契約をして、劇団の資金を稼いでいこうということでした。1年に12本映画をとり、5年契約ですから合計70本。1日に2本をかけもちし、午前中は芸者さん、午後は女子大生を演じるという具合です。ですから、私は映画育ちというか、いろいろなことを映画から学びました。



俳優にはイマジネーションと運動神経が必要

1982年の初演から28年間も続いた一人芝居「化粧」。登場人物を演じ分けながら、母と子の愛憎の相剋を浮き彫りにした迫真の演技は芸術選奨文部大臣賞に輝きました。

舞台には、台詞を通して人間のもつ様々な側面を、いろいろな形で表現できる楽しさがあります。「化粧」では、公演のたびに自分に宿題を与えました。私自身は変わらないわけですから、常に新しいことに挑戦していく意欲がないと持続できないですね。

俳優には、イマジネーションが大切だと思います。こういう人間だったら、どうするだろうとイメージします。そのイメージをつかみ、お客様に伝えるためには運動神経が必要です。というのも、私は台詞を覚えるとき、声を出したり、鏡の前でポーズをとることは一切しません。イメージをすべて頭の中でシュミレーションし、稽古ではじめて動いてみます。イメージで形と動きをとらえ、表現できれば、必ずお客様に伝えることを信じて。

私は芝居の世界を離れば、買い物かごをさげてスーパーに行き、料



6人の女優さんが手弁当で参加する朗読劇「夏の雲は忘れない」

理をする普通の主婦です。そんなふうに、舞台と私生活の落差を大きくすることも、私にとって面白くて大切なことです。普通の女性の生活もしたい、結局、欲張りなんだろうね。「欲張り」なことが輝くことなのかもしれません。

水永龍男君、君を忘れない

原爆と戦争の悲惨さを訴える朗読劇「夏の雲は忘れない」。出演は渡辺さんをはじめ女優6名と地元の子供たち。その原点は、筈小学校の同級生、原爆で亡くなった水永龍男君の思い出です。

龍男君は小学校5年の時、筈小学校に転入してきました。それまでは、ご両親のお仕事の関係で中国の青島にいらしたそうです。やがて東京の空襲が激しくなったので、ご親戚のいる広島に疎開しました。クラスにいたのは、ほんの半年くらいのことです。

ふたりとも自宅まで同じ道筋だったので、毎日一緒に歩きました。彼は途中で、ふとしゃがんで虫をとったり、タンポポや雑草を摘んだりします。私がそこまで行くと、また歩き出します。もしかすると、私を待っていてくれたのかもしれない。

当時のことから、声をかけるとか言葉を交わしたことはありません。戦後もずっと水永君を探していた

私が「小川宏ショー」に出演し、ご対面コーナーで龍男君のご両親から当時の話をうかがったのは、それから35年後のことです。広島に原爆が落とされた日、龍男君は12歳で223名の仲間と共に跡形もなく消えてしまいました。転校ばかりしていた龍男君には友達もいなかったそうで、ご両親から「ずっと気にとめてくださって、ありがとう」と感謝の言葉をかけていただきました。

理不尽に幼い命を奪われた水永君。好きなことをやって生きている私。そのことをエッセイ集『ひとり旅・一人芝居』（講談社）の<リンゴのほっぺ>という章に綴りました。それが高校2年生の教科書に転載され、15年ほど経ちます。大勢の高校生たちに戦争というものを知ってもらうきっかけとなれば、本当にうれしいです。

その声が私の背中を押してくれる

まさに円熟の境地にある渡辺さんは、いまなお未知の「自分さがし」をしていると言います。そして、それは「声」に表れるのだと。

演じる役柄や作品を借りて、私は自分にとって未知の世界を探し続けています。理屈ではなく、「知らない自分に会いたい」と願っています。60年俳優を続けてきて、それが



28年間も続いた一人舞台「化粧」のポスター

一番わかるのは「声」です。これまでも、初めてこの声が出たという体験があり、男役を演じた「リア」の中でも1カ所ありました。小田島雄志先生からは、「男の声ではなく、人間の声にしてほしい」といわれていました。演じるうちに、与えられたシチュエーションに触発され、偶然のように出た声。からだは楽器になって、聞いたことのない不思議な「声」が出ていました。「ああ、まだ作ったことがない声があったんだ」と思いました。これも、一種の自分探しですね。

生きるということは、何かのご縁があり、出会って、家族がここにいるということですね。遅ればせながら、その大切さを気づかせてくれたのが夫の病気でした。いまは元気になりましたが、それまでは息子と家族3人なのに、お互いのスケジュールも知らないような同居人状態でした。

日々、自分のおだやかな面で人に接しようと思いつつ暮らしています。そういうふうに相手を思いやると、相手もそれを返してくれるのですね。そして、この年になっても一生懸命、夢中になっていることがあることに感謝しています。そういうとき、龍男君が出てきます。「僕のぶんまで精一杯生きてね」—その声が背中を押してくれるのです。(インタビュー:ときわ会科会長 古藤黎子)

『食は命なり、運命なり』 ～私が大切にしている言葉～

医学博士・管理栄養士 本多 京子
(昭和46年/大食管卒)



私の生き方の座標軸になるのが、恩師に教えて頂いたこの言葉です。江戸中期の「観相学」の大家である水野南北は『運命の吉凶禍福は、みな食べ物に由来する』として、食を中心に運勢判断をしたといいます。食は社会を反映し、食の変化が健康状態につながり、健康状態の善し悪しがものの見方や心のあり方を変



え、心のあり方が運命を変えるからです。そのため、食の世界は栄養学のみならず、いろいろな分野の知識と体験の積み重ねが大切だと気づき、勉強を続けてまいりました。その結果、食品企業の仕事ばかりでなく、医薬品メーカー、金融業界、スポーツやエステティック、アロマセラピー、健康食品や化粧品メーカーなどいろいろな分野の仕事をお引き受けすることになり、食はすべての

分野とつながっていることを実感してまいりました。

現代人は、好きなときに、好きなものを好きなだけ食べられる豊かさを手に入れましたが、食糧自給率は下がり、食への関心が薄れ、その結果として、食育の重要性が叫ばれるようになりました。そのため、この数年は、食育に携わることが多くなりましたが、そんな折に思い出したのが、昔、恩師が「人生でいちばん美味しかった料理」として語ってくれた筍の蒸し焼きと雑キノコ汁の体験談。竹林でかすかに芽が出た筍の周囲を掘って地面の中で蒸し焼きにしてワサビ醤油で頂くというものと、松茸狩りに行った時に雑キノコしかとれず、わき水を汲み、ねぎと味噌を入れて仕上げた鍋でした。

これらの料理にあこがれていた私は、ようやく数年後に同じものを味わう機会を得て気づいたのは、食の背景にあるさまざまな要因でした。人が幸せになるには、体と心の健康があってこそで、その土台になるのが「食」ですが、私たちは、毎日なんとなくお腹が空くと食事をして過

ごしています。でも、ただ空腹を満たすだけのものではなく、「食のあり方」はその人の生き方そのものを表しているように思えます。

そんな私が、毎日の暮らしの中で一番大切にしていることは自分の食べるものは自分で調理すること。私のすべての仕事の原点はここにあると思うからです。これからも、人が幸せになるための食のあり方をいろいろな角度から考えていきたいと思います。(ほんだきょうこ)

[プロフィール]
実践女子大学家政学部食物学科卒業後、早稲田大学教育学部体育成理学教室研究員を経て、東京医科大学で医学博士号を取得。国民運動「新健康フロンティア戦略」の健康大使。現在、NPO日本食育協会並びに日本食育学会理事。プロ野球のほか、ラグビー、スキー、相撲などスポーツ選手に対する栄養指導の経験を有し、アロマセラピープロフェッショナルでもある。また、日本体育大学女子短期大学で小児栄養学を担当。テレビや雑誌で健康と栄養に関するアドバイスやレシピを多数作成。「別冊NHKきょうの料理シニアの楽々元気レシピ」(NHK出版)、「Dr. クロワッサン 血液力を鍛える食べ方」(マガジンハウス)「ウソ? ホント? 栄養学がおもしろい!」(成美堂出版)を始め、著書は60冊を超える。近著に『お腹すっきり腸健康法』(集英社)「柑橘レシピ」(日東書院)がある。

室生犀星との出会い、学生たちとの日々

実践女子短期大学
日本語コミュニケーション学科 教授 高瀬 真理子
(昭和61年/院国修了)



実践女子短期大学国文科で学べたことを何よりも誇りに思い、恩師・板垣弘子先生との出会いをどのように語ればいいのか、思いばかりで十分には語れないように思います。ま

た、短大教育を享受した者が、その母校の教壇に立っているということに使命を見いだすような心持ちでもあります。そのような観点から、本学日本語コミュニケーション学科に

おける教育と自分自身の研究について、その一端を述べてみたいと思います。

われわれ人間は時代の子です。時代の変遷とともに変えていかなければ

ばならないこと、また、時代がいかに変わろうとも守り通さねばならないもの——教育というのは、常にこの二つの方向性に晒されながら、学祖下田先生の理念の下、本学として、どのような学生を育成するのかという問いに応え続けることであるように思います。

現在、当学科は教養と実学のコンセプトの下、情報スキル、コミュニケーションスキル、出版編集の3コースを設けています。私は、出版編集コースを担当しております。例年コース担任として1年次のクラス授業も担当、学科の特色である家庭的な雰囲気の中で学生との距離を近く保つために、学生一人一人の性格や能力、生活状況まで把握できるよう努め、学科スタッフと情報を共有し、関係各部署と緊密な連携がとれるような体制を取っています。学生の自主性を伸ばすために、学科誌『歌子』では、学生編集委員が教員や助手と分担して編集作業を行ったり、広報委員会では、学科ホームページの更新作業に参加したり、編集部では、学生による学生雑誌『ゆすらっ



こ』の企画編集製作を行ったりしています。特に、学園企画『実践するふ』の制作年度には、おおよそこの編集部のスタッフか、編入したOBたちが活躍をしています。私たち学科スタッフは、それらの学生活動の裏方として、学生が常に気軽に相談や質問に来られるように声をかけ、目をかけ、手をかけて、それぞれが自ら育つように見守っています。

研究の方では、高校時代に金沢転居で遭遇した室生犀星については、板垣先生、分銅惇作先生、岡保生先生等からいただいた教えに従い、卒論時からコツコツと勉強を始めました。決して出来はよくないけれど、愚直さを貫いて論文執筆のノルマを

自分に課しながら、地道に書き進めてきました。平成17年度に書き下ろしを加えてそれらをまとめ、『室生犀星研究—小説的世界の生成と展開—』(翰林書房)という論文集を学園の出版助成を受けて上梓することも出来ました。そのことが、大田区立郷土博物館の「馬込文士村資産化事業」(平成21～23年度)や各種講座や講演の仕事につながり、室生犀星『深夜の人・結婚者の手記』(講談社文芸文庫)の編集と解説の仕事にも結びついてきました。また、一連の仕事が、在學生や卒業生、特に大学院に進学した短大の卒業生の励みにもなっているようなので、ありがたいと思います。これからも、その歩みは愚直でありたいと思っています。(たかせまりこ)



ことばを磨く

実践女子短期大学 准教授、フリーアナウンサー 平田 由美 (昭和45年/大英卒)



実践女子学園中学高等学校から大学英文学科へ進み10年間お世話になりました。

いつでも誰とでも楽しくリラックスして話せることもあって、中学生の頃から沢山の友達に恵まれました。その頃からでしょうか。「相手の気持ちを考えて話す」ことを自然と意識するようになりました。

大学を卒業後、ニッポン放送にアナウンサーとして採用された時には跳び上がるほど嬉しくて、何にでも

挑戦したいと思う気持ちで一杯でした。ラジオでの第一声は「時刻は4時10分です」の一言でしたが、「10分」を「じゅっぶん」ではなく「じっぶん」と読むと、相手に分かりやすく伝わることを先輩から教えられました。ニュースや天気予報をはじめ多くの番組を自分なりに工夫しながら、楽しく仕事に向き合う毎日でした。3年という短い期間でしたが、番組を通して得た経験や数々の教えを胸にニッポン放送を卒業し、新し

いテレビの世界を目指しました。

幸運にもフリーとなつてすぐに、開局間もないTVK(テレビ神奈川)をはじめとして、NHKや日本テレビ等で、番組の司会やナレーション、シンポジウムなど次々と仕事の幅が広がり、忙しい中にも人と人との新しい出会いに充実した日々が続きました。

そうした中、双子の男の子の出産で、数年間は育児に専念することにしました。仕事関係の皆さまには大

変温かく見守っていただき、感謝するとともに再び仕事に戻りたいという気持ちが大きく膨らみました。そして3年後、NHKからの番組の依頼を受け、新たな気持ちで仕事に復帰することになりました。

アナウンサーの仕事は一見華やかに思われますが、見えないところにこそ気を配りたいと考えています。声の出し方や笑顔、言葉遣いは勿論ですが、気持ちの持ち方や物事へ取り組み真摯な姿勢を常に大切にしたいと思っています。

一昨年から、日本語コミュニケーション学科の教員として、主に「オー



ラルコミュニケーション」を中心とした科目を受け持っています。学生には、社会やビジネスの場で求められる的確な情報収集と発信ができる技量(スキル)をしっかり身につけてほしいと考えています。

経験に基づいた具体的な話しに、学生は深い感銘を受けるようです。



これまで積み重ねてきたアナウンサーとしてのノウハウや大切な宝(コミュニケーション能力やプレゼンテーション力)を、今後も分かりやすく伝えていきたいと思っています。

母校の実践女子学園で学生と共に歩む幸せな日々感謝いたします。(ひらた ゆみ)

実社会との接点のある教育へ

実践女子大学生生活科学部生活環境学科 准教授 大川 知子 (平成2年/大英卒)



本年度開設されました「ファッションビジネス研究室」を担当させて頂くため、4月1日に着任しました。大学を卒業したのが1990年。ご縁あり、実に四半世紀振りに学び舎に戻ることでなりました。

担当するファッションビジネスは、世界的に見ても新しい研究領域です。前職である(一財)ファッション産業人材育成機構(略称IFI)では、産業界による産業界のための教育機関として、正式開校の準備段階から携わり、以来、16年の歳月を業界の皆様と共に、教育の側面から歩んで参りました。

これまでは業界のプロフェッショ



ナルが対象でしたので、4月からの環境変化に自分が適応出来るのか一、あるいは学生の皆さんの期待にどこまで応えることが出来るのか一、不安を抱きながらの半年が経過しました。

学生は、教室では真面目でとても静かです。しかし、いったん場を変えると、議論は途端に闊達になり、ひとりひとりの個性も出てきます。この狭間には何が作用しているのか一、今後、自身の講義に反映していく点だと考えています。

また素直で優しい心を持った学生が多く、良い意味で私の印象も大きく変わりました。人間は死ぬまで成長し続けると信じています。ただ、その成長のためには、諭えいくつになろうとも素直な心が大切です。4年間の間にこの部分をどう磨いていけるのか、そのために微力ながらも自分の出来る貢献を考えていきたいと思っています。

先行きの不透明さが増す現代社会においては、これまで「正しいとされてきたこと」が足下からすくわれ、あらゆる分野で思いもよらぬ構造変化が起こることは避けられません。同時に、ファッションビジネスを教室の中だけで学ぶには限界があり、この領域に実社会との接点は不可欠です。フィールドワークや企業視察を通して、自らの五感を研ぎ澄まし、この難しい時代を生き抜くベースを、生活環境領域での学びを通じて体得して欲しいと願っています。

4月21日一、今回の着任を心から喜んでくれていた父が他界しました。そもそも進路に迷う高校三年の私に、この大学の募集要項を差し出してくれたのは母でした。これまでの私を有形無形に支えてくれた家族に報い、また本学での学びを志す学生の皆さんの期待に応えるべく一、今回、皆様から頂いたご縁に対して、精進していく所存であります。

(おおかわ ともこ)

なよたけ
スペシャル

フランス菓子の虜

永吉 敬子

(昭和 35 年 / 大英卒)

もう今から 25 年以上前になります
が、友人から誘われたのがきっかけ
でフランス菓子作りの虜になりました。
八才迄中国で過ごし、はっきり
とした記憶ではないのですが、終戦
前、天津では、お砂糖もバターも粉類
にも不自由はしていませんでした。
両親と外出する時は、フランス租界、
イタリア租界、イギリス租界などで

の国のお菓子をいただきとても美味
しかったことを憶えております。

そんなわけで、子供の頃からのお
菓子好きが高じて今日まで続いてお
ります。でも何と言っても、作っても、
「美味しい」と食べて下さる人がいなく
ては長続きはしなかったと思います。
30 年間程、実践英文科会の輪読会に
席を置いており、以前お勉強の後で



右から 2 人目が永吉敬子様



持ち寄って食事を共にしておりまし
た頃、私は主にお菓子の担当でした。
又、15 年程前に小泉先生が卒業生に
フランス語を教えてくださいること
になり、そのお勉強の後、皆さんと一緒
にティータイムを楽しむこともでき
ました。その他ブティックや喫茶店に
も「手作りケーキ」と題してコーナーを
作って頂いたこともあります。

今は若い頃と違って腰痛もあり、気
まぐれに作っては知人に送ったり、現
在某大学でフランス語の教室に通っ
ておりますので、そこでも喜んで頂い
ていると自負し作っては運んでおり
ます。

ご紹介するのは輪読会で何度か喜
んで頂いた「ガトーショコラ」のレシピ
です。ケーキの仕上げの飾りの粉糖
は、そのまま振り掛けるだけでも良い
のですが、紙で切り抜きをして、楽し
んではいかがでしょうか？

(ながよしけいこ)

「ガトーショコラ」のレシピ

◎材料 18 cm セルクル 1 台分

卵黄	3 個
グラニュー糖	60 g
スイートチョコレート	105 g
バター (無塩)	60 g
生クリーム	52 g
卵白	3 個
グラニュー糖	60 g
薄力粉	15 g
ココア	45 グラム
粉糖	飾り用

◎作り方

- ①卵黄とグラニュー糖を白くなるまで
擦り合わせる。(約 3 分)
- ②チョコレートは湯煎で溶かす。
- ③バターは常温でクリーム状にし、ゴ
ムべらで②と混ぜる。

④人肌の温度の生クリーム
を③と合わせる。

⑤①と④をホイッパーで合
わせる。

⑥別のボールに卵白を入
れて泡立て、グラニュー糖を
加えてしっかりしたメレンゲ
を作る。その 3 分の 1 を⑤
に加えてよく合わせる。

⑦粉とココアをふるったもの
をホイッパーで⑥に合わせる。

⑧残りのメレンゲを全部⑦に加
え、ゴムべらでつやが出るまでよく合
わせて型に入れ、台の上でとんと
たたいて落ち着かせる。

⑨ 180℃の天火で 35 分
かけてしっとりした表面に仕上げ、
冷めてから粉糖を振る。

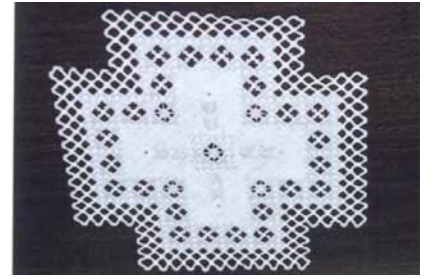


なよたけ
スペシャル

ハーダンガー刺繍

実践技芸科会会長 中岡 久恵

(昭和 17 年 / 専門技芸卒)



ハーダンガー刺繍は、16 世紀
の頃、ノルウェーのハルダンゲル
(HARDANGER)地方の一住民により
作り出されたものであります。目の荒
い素朴な白の布地に白糸で刺繍を施
し、カットしてレース風に仕上げたこ
の手芸は、早速、刺繍に興味を持つ
すべての国に取り入れられて、服飾に、
室内装飾にと広く愛用されながら普
及して参りました。我が国にはドロン
ワークと共に、大正の初期宣教師に
よってもたらされ、手芸専門家による
著書の一部にハーダンガーの基礎の
一部が紹介されたのが始まりと云う
ことです。

終戦後(1945 年)オックスフォード
の布地が市場に現れるや、中学校、高
等学校、大学、専門学校、各教室等
で取り扱われるようになりました。(原
京子著「ハーダンガー刺しゅう」よ
り)

原 京子氏は、学生の頃、ハーダ
ンガー刺繍に会われ、実践女子専門
学校技芸科を昭和 16 年に卒業後は、
筑波大学国府台分校で文部教官、日
本手工芸協会監事・審査員に携わっ
ておられました。又、日本に於けるハ
ーダンガー刺繍として、日本的な色彩、
技法を新しく研究、普及につとめ、著
書も「ハーダンガー刺しゅう」「華麗な
ハーダンガー刺しゅう」などを次々と
出版し、毎年作品展覧会を開催、北
欧はじめ世界各地を巡り、国内も精
力的に廻られて、今日の隆盛に厚く
寄与されました。

ハーダンガー刺繍は区限刺繍と
云って布目を数えながら前進して行
く手法で、ドロンワークと欧風刺繍を
ミックスした古典的な中にもエキゾ
チックな美しさを醸し出し、このテク
ニックの繰返しと、さまざまなステッ
チの組み合わせで美しい幾何学模様

を作り出しています。

作品に使用する用布は、布目を数え
ながら進めて行く手法ですから、布目
の見やすい平織で、織目が密でない布
地が最適で、繊維をカットして抜き取
るため、糊気のないものを使用します。
先ず基礎用の布としてはコングレス
が最適です。又、オックスフォード、
リネンなどと平織であれば大抵の布
は可能と云えますが、服飾とか室内装
飾など作品の用途によっても決まっ
て参ります。

特色につきましては、手法が簡単で
あると云うこと、次に配色につきま
しても、元来白糸 1 色だけでも見事
な作品が出来ます。また作者の好み
によっていくつかの色糸を組み合わせ
ることで、更に芸術的な作品を生み
出すことも出来ます。

用途につきましても、服飾、室内装
飾として、限りなく自由に製作する
ことが出来ます。作品例としまして服
飾では、ハンドバック、子供服、ワン
ピース、ツーピース、ブラウス、スカ
ート、ベスト他など、室内装飾とし
ましては、テーブルセンター、テー
ブルクロス、クッション、ドイリー、
壁掛け、ピアノ掛け、のれん、額、
カーテン、スリッパ等々アイデア
次第のようです。



実践桜会に “代議員”制を導入する 準備を進めています

現状はどうなっているの？

実践桜会は、実践女子学園の中学校・高等学校・短大・大学・大学院の卒業生を会員とする同窓会を母体としています。各学校を卒業するときにはほぼ全員が入会し、その後も会費を納入されている方を正会員としています。また、卒業生以外の個人・団体でも賛助会員になることができます。

実践桜会の役員や運営の重要事項は、すべて正会員による総会で決定されます。しかし、正会員の方々のご事情や会場の都合などから、実際に総会にご出席される正会員は限られ、ほとんどが委任状出席となっているのが現状です。

どうして“代議員”制にするの？

実践桜会は平成23年に“一般社団法人”に移行し、その活動はますます拡充しつつあります。

一般社団法人は、総会の開催方法を含め、実践桜会の運営について関係法令上の手続を守る必要があります。総会の招集通知の遅れ、委任状の不備などがあってはなりません。

全国規模で多人数の正会員が分布している場合、通知漏れなどのミスが生じがちになります。また、委任状が多く、多くの正会員が欠席されるという現状も好ましいことではありません。

そうした現状を改善するため、科会や支部ごとに正会員が選出し、その代表となる「代議員」を選び、代議員によって総会を開いた方がスムーズな運営につながることも考えられます。

代議員制にしても法人として問題はないの？

法令では、一般社団法人の構成員を「社員」と呼びます。この「社員」によって総会を開催し、法人の役員や重要な案件を決めることになっています。「社員」を（実践桜会の）正会員の全員とするか、会員によって選ばれた代表者（代議員）を「社員」とするか、社員の資格条件はそれぞれの法人が自主的に定めることができます。定款で、社員の資格条件や代議員制度の骨格（定数、任期、選出方法、欠員措置等）等を明確に定めておけば問題は

ありません。

この場合、社員になる代議員が会員の声を代表し、会員が代議員を通して法人の運営に参加できる仕組みを整備することが重要です。

そのためには、すでに協力活動実績のある各科会や支部の位置づけや役割、会員との関係などもあわせて定款に定めることが必要となります（組織図<案>参照）。

なぜ、今なの？

実践桜会は、実践女子学園卒業生の親睦と絆をさらに深め、学園の支援や社会貢献に大きな役割を果たすことを目指し、一般社団法人に移行しました。移行後2年を過ぎたところで、いくつかの課題も見えてきました。まず、できること、基本的な事項から、法人としての整備を進めていく必要があります。今後も、実践桜会にふさわしい組織と運営方法について、持続的な改善に取り組んでいかなければなりません。

今後の予定は？

このたび、実践桜会の理事長以下、役員の方々の要請で原案の検討作業を始めました。たたき台を作成後、その内容を会員諸組織にお諮りし、皆さまのご意見を集約して確定原案とする方針です。今後、理事会での審議を経て、次回以降の総会で議題として提案されることになります。会員の皆さまからの御質問や御意見など、ぜひ本部宛にお寄せください。

（文責：法律相談担当／秋田瑞枝）

図1 現行組織図

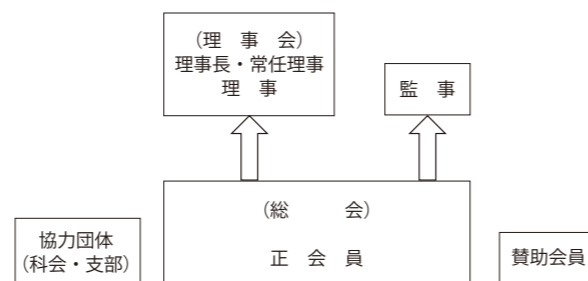
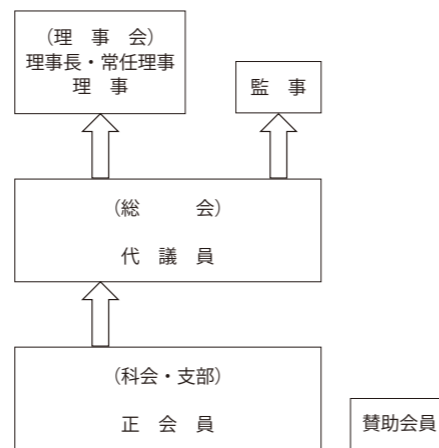


図2 予定組織図



特別寄稿

歌子先生 英国巡り会い2

—チェルトナム・レディーズ・コレッジ ドロシア・ビール校長—



大関 啓子

実践女子大学英文学科 教授
実践女子学園
下田歌子研究所 所長



前号に続き、下田歌子先生が1893-5年の欧米視察で出会い、大きな影響を受けた人物をご紹介します。

近代女子教育のパイオニアとして、英国でその名を知らぬ者はないと言われるほど有名なドロシア・ビール校長です。チェルトナム・レディーズ・コレッジは、英国において理性ある真の女子教育実現の、夢の舞台ともいえる学校。彼女は傾きかけていたコレッジの二代目校長として27歳の若さで赴任し、私財と大なる努力を注いで、多くの難題に取り組み改革を行い、傾きかけていたコレッジを、英国で最高の女子学校につくり変えました。

1865年に、ビール校長は、女子教育と学校の改革には、次の3つが必要であることを表明しています。第一に講師の質の向上、第二に学校の視察調査、第三に仕事の改善。この意見に基づいて、国中で女子教育改革運動が展開していきました。前号でご紹介したオックスフォード大学サマヴィル・コレッジもそのひとつです。

歌子先生が、ビール校長を、チェルトナムに訪問したのは、1895年5月27日であることが、一昨年の現地調査で明らかになりました。月曜日の早朝に、歌子先生はロンドンを発ち、当時の列車で2時間ほどかけてチェルトナムに到着。以前からビール校長に招かれていましたが、日本への帰国を翌月に控え、多忙な毎日を送っていたため、何回も訪問予定を変更して、やっと実現したのです。元々コレッジに数日滞在するはずが、急用でロンドンに戻らねばならず、数時間だけの滞在時間を、二人は惜しんで、初対面とは思えない程親しく語り合いました。

この時歌子先生は心の中で、帰国後

の日本に、一般女性のための学校を創設しようと決心していました。華族女学校の学監を務めていた先生の、欧州視察の当初の目的は、明治天皇の二人の内親王教育の準備でした。しかし、ロンドン滞在中に、日清戦争が勃発し、日本の前途に危機感を覚えた先生は、一般の人々の教育こそ、日本の将来を左右するものと考えました。「日本の百年の善後策」の一つとして、男子よりも遅れていた、一般女性のための教育を実現しなければと決心したので。そこで、急遽、英国でその夢を実現していた先駆者のビール校長を訪問しました。



ドロシア・ビール校長(CLC所蔵)

当時のコレッジは設立後41年経ち、ビール校長になって既に37年目を迎え、設備も環境も十分に整い、オックスフォードでのさらなる高等教育を実現しようとしていた時でした。歌子先生の求めに、ビール校長は快く応じ、この僅か数時間の滞在時間に、教育から経営に至るまで、自らの経験から、あらゆる情報と知識を、先生に与えました。さらにロンドンに帰宅後も、歌子先生の質問と求めに応じて、何度も手紙を送り、彼女の持つすべてを伝授

しています。残念ながら、ビール校長の手紙は残っていませんが、歌子先生は、感謝の念をその書簡と著書に記しています。「この老女博士の徳望、甚だ最良じきも宜なり。其容貌態度、極めて、温厚、謹恪にして、其客を愛する親切懇篤至らざる所なし」*1と。

ここに至って、歌子先生の心を固く閉ざしていたキリスト教嫌いは、その片鱗も窺う事はできません。二人の間には、宗教や習慣、言葉の違いを越えて、女子教育の理想の実現を目指す者同志としての、深い交流と共鳴が感じられます。

この時、ビール校長から得た数々の資料とアドバイスは、歌子先生の帰国後、1899年実践女学校の創設に様々な影響を与えました。二人の対面から11年後、ドロシア・ビール校長は病に倒れ、1906年秋、75才で亡くなったため、二人はこれ以後再び会うことはありませんでした。その葬儀はロンドンのセント・ポール寺院で行われ、国葬級の多くの人々が参列し、その墓はグロスター大聖堂にあります。

しかしビール校長の、跡を継ぐべき子もなく、ただ学校と生徒を我が子として、女子教育の理想に生涯をかけた姿は、後に実践女学校の校長としての歌子先生自身の姿に等しく重なり合うものがあるように思います。

*1 下田歌子「泰西所見家庭教育」(1901)

大関 啓子 プロフィール
中学校から大学院修士課程まで実践を卒業。その後、学習院大学大学院博士後期課程を経て、ケンブリッジ大学客員研究員。現在、実践女子大学文学部英文学科教授、実践女子学園PJ研究下田歌子研究所所長。国際チャーター学会会員および日本中世英語英文学会会員。著書『中世英国ロマンス文学—ケルト追遙』他。



パワー全開。関西支部の幹事の皆さん

関西支部 今泉 恭子
(昭和48年/大英卒)

**二府四県に
またがる組織**

実践桜会関西支部は、本年10月22日に第81回の総会を迎え、平成25年5月現在の会員数は239名です。



伝統ある支部の歴史は古く、毎年京都に寮舎監の坂寄美都子先生をお迎えし、関西一円、岡山からも卒業生が集われ、後に、10月8日学祖の御命日に同窓生がお寺に集まり、法要後に一同で会食されたのが、この会の始まりとのことです。



並川みき子副支部長

平成9年には中西茂子元支部長が現在の会則を整えられ、会員皆で運営し支えていく体制が整いました。当時岡山県も含まれておりましたが、加藤和子元支部長が岡



総会で

山支部独立を勧められ、現在の関西支部は、二府四県(大阪・京都・兵庫・奈良・滋賀・和歌山)となっております。

平成12年に実践桜会同窓会関西支部も社団法人教育文化振興実践桜会関西支部となり、総会・親睦会に加え、講演会等の行事が必須となり、現在に至っております。

また、紅林誠子支部長時代には、当時の学長からの依頼もあり、実践女子大学への進学案内のために役員の方々と学校訪問を精力的に行い、そのパワーは関西支部の語り草となっております。

平成23年4月1日より本部が一般社団法人教育文化振興実践桜会となり、関西支部は実践桜会関西支部と独立組織となりました。

**浦上理事長をお迎えし、
総会、講演会を開催**

現在は、年1回10月8日学祖祭終了後の時期に、実践桜会関西支部総会・親睦会・講演会を開催しております。

昨年は、秋晴れの10月12日京都御所始御門前の京都ガーデンパレスホテルにおいて、新理事長浦上淳子様のご臨席を賜り第80回総会を開催いたしました。

講演会は家政科昭和19年ご卒業の井上園子様の御子息様で、国際日本文化センター教授井上章一氏

をお迎えし、「美しく老いる」と題し、男性ならではの視点でとらえた美人論を、実際の裁判の資料等で根拠を裏付けつつ楽しくお話していただき、一同とても興味深く拝聴いたしました。

本年第81回総会は10月22日(火)大阪・梅田 インターコンチネンタルホテル(ウメキタ・グランフロント大阪に6月オープン)で開催いたします。

講演会は、講師に細川正義関西学院大学文学部文学言語学科教授をお招きし、

「司馬遼太郎 坂の上の雲」を中心に司馬遼太郎作品の魅力を語って頂く予定です。

**白井喜美子様語る
学祖の思い出**

平成25年6月7日、昭和11年専門英文科卒の白井喜美子様を神戸市中央区下山手通にある介護老人保健施設「いつでも夢を」に支部長・副支部長・地区委員と今回お世話頂いた徳丸さんの4名でお尋ねし、英文科3年間の思い出等を伺いました。

白井様は下田歌子先生ご出身の岩村についていかにアカデミックな土地柄であったか熱心に語られました。そして、下田先生のご先祖様のお墓と白井様のご先祖様のお墓が向い合せにあり、深い縁に

結ばれ、導かれるように実践に進学されたそうです。

下田先生には週1回修身の講義をいただき、その時の変体仮名交じりの文字の美しさは、その板書を消すのも惜まれるほどであったそうです。また、当然のことながら歌も素晴らしく感動的なお授業だったそうです。また、坂寄美都子先生には礼法を教わり、専門学校でも礼法の授業があることに驚かれたそうです。

常盤寮は六畳に6人寝泊まりし、皆協力し合い、楽しく3年過ごされ、当時の渋谷駅には白い現役のハチ公が座っていたそうです。ご卒業後神戸に戻られ、時代の流れで英語教師ではなく、小学校の代用教員になり、資格取得後終戦まで小学校教員をしておられました。戦後高等学校の英語教師になり、神戸の女学校で英語の教鞭をとり、扇千景さんはそこでの教え子の一人だそうです。

当時のことを話され始めると、



井上章一氏



中国杭州市西湖

30分の予定を大幅に超え1時間近く熱弁され、時間を追うごとに英気がみなぎり、目を輝かせておられた様子が印象的で、100才を超えて、またお目にかかることを約束し、大先輩と握手をしてお別れ致しました。

**実践女学校で学んだ
女性革命家・秋瑾**

最後に、上海在住で関西支部会員の岩崎真紀枝様が中国杭州で撮影された中国女性革命家・秋瑾の写真をご紹介します。秋瑾は明治時

代清国から実践女学校に留学し、帰国後革命家となり、31歳で処刑されました。女性革命家であった秋瑾の処刑は、大きな反響を呼び、現在でも英雄として敬愛され、銅像が立っているそうです。

平成23年秋には国文科会京都研修旅行の冷泉家見学に同行しました。

今後の実践桜会関西支部の発展・存続のため、他の支部・科会との交流を深め発展していくことを望んでおります。

白井喜美子様を偲んで

文責 副支部長 並川みき子
(昭和45年/大国卒)

白井喜美子様は2013年9月1日に98歳でご逝去されました。実践桜会関西支部会計監査として84歳を超えて8年間にわたり、ご協力いただきました。つつしんでご冥福をお祈りいたしますとともに心から感謝申し上げます。

白井喜美子様ご出身女学校(兵庫県立第二神戸高等女学校)の同窓会

社団法人 親鸞会の御好意により実践女子専門学校英文科ご卒業後の神戸での活躍の軌跡を伺いましたのでご紹介申し上げます。

白井喜美子様は旧兵庫縣立第二神戸高等女学校3回生(現兵庫県立夢野台高等学校)で、その同窓会 社団法人 親鸞会の会長を昭和27年から54年まで27年間勤められ、名誉会長として一昨年来まで総会、理事会にもご出席されておられたそうです。

昭和11年実践女子専門学校英文科をご卒業され、英語の教員免許状を在学中に取得されましたが、その当時は戦時色が強く英語を教

える旧制中学や女学校が殆どなく、小学校教師(訓導)の資格を得られ、終戦まで小学校教師として活躍なさいました。終戦後英語教育の復活に伴い、神戸市立第二高等女学校、学区改正後の高等学校において英語教員をなされ、兵庫県立須磨高等学校から遊喜幼稚園長に就任され、その後神戸市教育委員会人事主事となり、定年後は常盤短期大学の教授もなさいました。

退職後、勲5等瑞宝章を受章され、その年の11月に宮中に参内、天皇陛下に拝謁されていらっしゃいます。



左が白井喜美子様



平成25年6月7日介護老人保健施設「いつでも夢を」にて

札幌支部 岩本郁子
(昭和37年/大食卒)

役員交代で、微力ながら絆を深め



前役員達の活動に感謝しながら、すがすがしい初夏、6月16日支部総会と親睦会を無事終えることが出来ました。

今年度は不慣れな新役員なので、会員の絆を深める為にゆったり時間を取り自己紹介、会の有り方等を話し合うことが出来ました。

札幌市内で開催された第22回ソーラン祭りに実践女子大学・短期大学総勢52名が出演6回目参加との情報を得て、札幌支部応援団として参加。美しく女子大生らしい演舞に感動と元気を頂き総会で報告。最後に、ミニ講演会「若さの秘訣は食事から」のテーマで、正会員東川尅美先生(元藤女子大学教授)―免疫力アップの為に野菜の効用―を学び、楽しく有意義なひと時でした。

函館支部 宮腰泰子
(昭和34年/大英卒)

学校がより身近に感じられた懇親会



ようやく初夏らしさの感じられる7月6日、支部懇親会を昨年好評の料亭「富茂登」にて開催いたしました。

今年は、7年振りに、人間社会学部の石川教授にご出席いただき、来年度移転の渋谷校舎の様子、現

在の学生について等の興味深いお話をお聞きすることができ、学校がより身近に感じられ有意義な会となりました。予定の時間が過ぎても別れがたくお話がつきませんでした。

今回久しぶりに出席された方もいらっしゃいますので、少人数ではありますが新しい企画を考えながらこれからも交流を続けていきたいと思っております。一人でも多くの方のご出席をお待ちいたしております。

(文責:昭和44年短英卒 本間佳子)

岩手支部 清水キミ子
(昭和41年/大被卒)

数年ぶりの懐かしい参加者も



タン盛岡本館において、平成25年度総会を開催しました。参加数17名ながら数年振りに5名の方の参加もありました。

第1部総会を終えて、第2部童話の朗読では、茂市久美子著の「おひさまのおへんじシル」と「つるバラ村の大工さん」の2編を村井紗織会員(H22年卒)に朗読して戴きました。ほのぼのとした気持ちに浸った時間でした。その後の懇親会では、みな様から近況報告をして戴き、その中で、90歳の大先輩小原悦子様から、健康で元気に暮らす秘訣を伺い、一同が感動させられました。

終始和やかに笑い合っ通した3時間、散会時には来年の再開を約束し合っていました。

宮城県支部 渡辺恭子
(昭和39年/大國卒)

震災で活躍された女性自衛官のお話を伺う



今年の支部総会は、永年、宮城支部にご貢献下さった飯岡絹子先生の米寿のお祝いと、昨年、震災へ英国支部よりの義捐金を親を亡くした子供達、救助のために命を落とされた自衛隊の方々へお届けした関係で自衛隊東北総監部より自衛隊仙台病院看護部長・平野良子氏をお招きし、東日本大震災の後、想像を絶する状況の下で救助に活躍された女性自衛官の方々の当時の模様、医療のご苦労話、現在の位置づけ、役割、生き甲斐などご講演頂き、昨今の日本人の心構えを改めて勉強させて頂きました。

山形支部 相原陽子
(昭和38年/大國卒)

季節料理の山菜と緑陰コンサート



山形支部総会は、原則として六月下旬の日曜日に開催しております。爽やかな季節の中、先輩・後輩、幅広い年齢層で集い交流し、これを日々の生活の豊かさに反映させるべく期待したいのですが、種々の事由により出席者の固定化があります。

本県は地域を三分し、回り持ちで総会開催を受け持っています。その地区の特徴が出て、中身の濃い内容で親睦を深めています。

今年は、山菜料理で有名な「西川町 玉貴」で開催。総会の後、旬の料理で会員歓談。その後、地元で活躍し、後進の指導にも当たっておられるオペラ歌手の相澤伸彦氏を招聘してコンサートを開催。玉貴を訪れた方や、近隣の方々も大勢参加し、楽しみました。

一年毎に一人でも多くの会員の参加を期待します。

福島県支部 大内友子
(昭和45年/大被卒)

フラワーアレンジメントを楽しむ

毎年六月末の日曜日に総会を行ない、今回は県内の各方面からの参加があり、フラワーアレンジメントを総会後に行ないました。

講師にポイントを教えて頂き、オアシスに思い思いに花や葉を刺し込みました。同じ材料でも、いろいろ個性豊かな出来ばえに満足したひと時でした。



茨城支部 篠崎和子
(昭和38年/大食卒)

新加入の方や母娘でのご参加も



去る6月22日(土)、今年の支部総会、懇親会、講習会を開催致しました。

午前中の総会は、例年通り滞りなく進行し、特に今回は新加入の

おふた方も出席され、また母娘での御出席もあり、大変嬉しいことでした。

昼食を兼ねた懇親会、講習会には地域の7名がご参加くださり、既にお顔馴染みの方々と和気藹々の中、楽しいひと時でした。

今回は趣向を変え、ネイル・アートの講習会を企画致しました。参加者の多くは50～70代で、爪の健康法や日常の爪の手入れ方法、またネイル・アートについて基本から御指導を戴きました。若やいだ華やかな雰囲気の中で、参加者夫々が好みのアートを施し、明日への意欲、元気に繋がることと嬉しく存じました。

栃木県支部 池島敬子
(昭和49年/大英卒)

年齢を超えた桜会の輪を広げる



10月14日(日)、佐野市鈴庵にて、24年度総会を開きました。会員9名出席のもと、校歌斉唱、会計報告等、なごやかなうちに無事終了いたしました。

佐野市吉澤記念美術館では、板谷波山の陶芸品を見、葛生化石館ではボランティアの方の丁寧な説明を受けました。午後訪問した安藤勇寿美術館では、作者ご本人に説明していただき、最後に、「道の駅どまんなかたぬま」で買い物をして、帰途につきました。

これからも、会員の皆様お一人でも多く参加していただき、年次を超えて実践桜会の輪を広げていきたいと思っております。

なお、栃木県の方は、宇都宮市二荒山駐車場脇の「蔵元」さんにお声かけていただくと、会員の方が経営していますので、連絡がとれます。

群馬県支部会 星井信子
(昭和41年/大國卒)

オペラの素晴らしい歌声に魅せられて

群馬支部では、年々会員の高齢化にともない、会員数の減少、総会等行事への出席者の減少に頭を悩ませつつも、出席された方が「来てよかった」と思っただけのような、楽しい、魅力ある企画を考えております。

今年度は去る6月16日、高崎メトロポリタンホテルにて、総会、その後、オペラ歌手内田とも海様をお招きしコンサートを開きました。すばらしい歌声に心うばわれ、素敵なおひと時を過ごしました。同窓会は年代の違いはあるものの、同じ母校に心寄せる故郷にも似たぬくもりがあります。多忙な、せわしない時代だからこそ、その使命は大きいと改めて感じる今日この頃です。



埼玉支部 小河原俊子
(平成4年/院食修)

田島学長のお話しゃ講演会も



第17回総会・講演会は、6月29日(土)埼玉会館において開催。来賓に田島 眞学長と海野政司入試センター部長

をお迎えいたしました。まず学長より「大学・短大」の最近の状況についてご挨拶をいただき、後に改めて「食品関係の最近の話題—食品表示法等—」について資料に基いての講話がありました。次いで入試センター部長からは、受験者の状況等の詳しい説明をお聴きいたしました。

午後の講演会では、国文学科の栗原 敦教授より「生きつづける賢治—宮澤清六さんのことばから—」の題目にて、賢治研究の第一人者としての、力のこもられた貴重な内容に、感銘深く学生に戻った気分で聴き入ったことでした。

なお、10月1日(火)「彩の国めぐり」は「妻(め) 沼聖天山(国宝指定)」と「荻野吟子生誕の地」を訪ねます。

ご参加をお待ちしております。

千葉支部 福村和子 (昭和32年/短被卒)

新学長をお迎えして 記念総会



私共実践校会千葉支部は、平成15年11月16日に第1回目の総会を開催致して居ります。今年この平成25年6月2日に第10回記念総会を持つことが出来ました。本当に多くの皆様のお力添えで進んでこられました事感謝致しました。

今総会は田島眞新学長をお迎えし、学園120周年記念行事渋谷への新学園構想のお話、桜会理事長浦上淳子様のお言葉等賜りました。

大学英文学科教授・下田歌子研究所所長でいらっしゃいます大関啓子先生の講話「中世ロマンス文学の女性たち」を、同窓生としての親しみの内にうかがうことが出来ました。

また、大学マンドリンOG会の有志の方々の演奏も懐かしく学生時代の想いに包まれながらの今年度行事始めを持ちました。

この後、記念会報ミルフィーユ発行と共に10年過ごしての会員名簿の整理に当たります。

小田原支部 青木正子 (昭和41年/大被卒)

50周年の お祝い会



9月29日に50周年のお祝い会を行いました。とても古い歴史を持つ小田原支部です。時代の流れと共に会は消えてしまいました。その後、昭和38年卒業のお2人の方々の大変なご努力により、「卒業生の親睦をはかる」目的で新しい支部が生まれました。昭和38年11月に小田原支部発会式が小田原だるまにて行われ、後に「みのり会」と名付けられ会則も出来、親睦をはかってまいりました。

現在は「実り会」になり親睦を深めております。

長～い歴史を持つ小田原支部です。神奈川県内にお住まいの方、支部へのご入会をお待ちしております。

連絡先:青木正子
TEL:090-4825-4576

山梨支部 大島節子 (昭和47年/短大栄養卒)

世界遺産に 湧く山梨

いま、山梨県内は富士山を中心とした世界文化遺産登録に沸いています。富士は見る場所や季節により本当に様々な表情を見せてく



れ、車に乗るとつい目が富士に向けられています。そこにあるのが当たり前風景になっていることに改めて気づくとともに幸せを実感しています。世界文化遺産登録された様々な関連施設など地元においても知らないことが多く、学ぶことが増えこれからは楽しみです。

山梨県支部では今年もラベンダーの収穫体験やラベンダー入りのハンガー作りを行いました。

10月には山梨県立文学館の学芸員を招いて研修会を予定しています。会員の親睦を中心にした楽しい活動を計画しています。

長野支部 宮坂秀子 (昭和42年/短大被服卒)

先輩方の尽力に 思いを馳せて

今年度は、前任の高松様から支部長を引き継ぎました。長野支部は望月富美子様のお声かけで昭和55年3月、23名で準備会を重ね、10月5日に初代支部長小野つね代様のご指導のもと結成しました。

毎年、支部役員会は6月第一日曜日に長野県中心地区の松本市。総会は10月第一日曜日に各ブロック持ち回りで開催しています。

去年は諏訪市のホテルにて総会後「二胡の鑑賞」を催し伝統的な哀愁を帯びた深い音色に心が洗われた時を過ごしました。

今年松本市に於いて10月6日、卒業生である渡辺美佐子様をお招きする計画を予定しています。

また役員会において羽毛田慧子様「遠くに旅経たれた先輩は思い出を残してくれました」のお言葉に一同感動し、先輩方の伝統を守りながら新しい風を取り入れ、新会員増に努めたいと思います。

新潟支部 寺澤昭子 (昭和41年/大食卒)

サプライズ 「黛まどか先生」を囲んで

昨年、地区懇談会が五年ぶりに新潟で開催されました。一週間後に支部総会を予定していましたが、地区懇談会に多くの方が参加されたので総会の出席者は少なかったです。



市民公開講座は、黛まどか先生の「引き算の美学」でした。実践女子学園の関係者と一般の方で約400人の来場者があったと地方紙(新潟日報)は伝えていました。

講演の後で、新潟の造り酒屋の村山さんが実践の校歌にも合わせて「常磐松」と名付けられたお酒を届けてくださり、居合わせた私たち役員も写真に入れていただきました。

今年度は支部総会を開きませんが、会報の2号を発行して会計報告をいたします。

福井県支部 谷 洋子 (昭和42年/大食卒)

名産の油揚げ料理や 豆腐料理に舌鼓

新緑が梅雨に輝く7月7日平成25年度総会を坂井市丸岡の「谷口屋」にて行いました。総会後の懇親会では、40～70歳代の7名が木々の自然に囲まれた中、自慢の油揚げ料理や豆腐料理をいただきました。福井県は油揚げの購入金額が20年間日本一であるという油揚げ好きな県です。今年も和やかな雰囲気の中で近況などを語り合いました。



食事後には国指定重要文化財、国登録記念物庭園である「千古の家」を訪ねました。中世末期に建てられたとされる茅葺屋根の坪川家は柱の立派さと屋根の高さに圧倒されます。坪川家の囲炉裏でそば湯をいただきながら、猛暑の一時を部屋に入ってくる自然の風で涼しくすごしました。

静岡支部 鏡島真理子 (昭和52年/大被卒)

「正法眼蔵」の勉強を 継続して

発会以来、静岡支部は色々な公開講座を開催して、地域の教育文化振興にささやかなりとも貢献することを事業の柱として活動してきました。現在は、地域の方々と正法眼蔵を継続して学んでおります。毎年一月末に支部総会も併せて開催しておりますので、お誘い合わせてご参加頂ければ嬉しいです。参加費無料ですので、皆様、ぜひお出かけ下さい。

愛知支部 大塚昌代 (昭和32年/短大生活卒)

平成24年11月6日 総会開催

名古屋ボストン美術館で「特別展ボストン美術館 日本美術の至宝」が開催されていたので総会に先立ち皆で鑑賞しました。大変な混雑でしたが、皆さん真剣にご覧になっていました。その後、同館内のレストランで総会、食事会。出席者は11人、戦前卒の方4人。

昔話(当時の実践の様子)をされ、当時の様子を窺い知ることができ、大変たのしい会となりました。

当会の高齢化で出席者が減少、なんとかしなければと皆さんと話し合いました。後日、何人かの方からお礼の手紙を頂きました。最近では電話やメールなどで字を書くことが少なくなり、自筆の手紙がこんなに心温まるものかと何度も読み返し、次回も元気な皆さんにお会いしたい…。

三重支部 竹腰 葵 (昭和44年/大英卒)

式年遷宮の伊勢神宮へ お出でください

平成25年6月25日(日)午前11時より「かんじ」(四日市市富田一色町)にて平成25年度三重支部総会を開きました。出席者は4人の方のキャンセルの後、6人となりました。

総会の後、新鮮な海山の素材を丁寧な温かいお料理に作りかえて下さり、一同、和やかな気持ちになって戴きました。

その後、恒例の講演会となりました。今年、神宮の式年遷宮の年に当たり、四日市市立博物館学芸員・堀越光信様に、「式年遷宮と神宮の諸層」と言う演題でお話を、お伺いいたしました。お話の中で式年とは、定められた年という意味で遷宮とは社殿を新たに建てた場合に、ご神体を遷すことです。今年の10月2日に内宮、5日に下宮からいよいよ始まります。ご遷宮も今回が、62回目を迎えますが、争乱や経済的な問題から途中で途絶えた事もしばしばでした。

外宮には、豊受大御神をお祀りする豊受大神宮、内宮には、天照大御神をお祀りする、皇大神宮からなり正式には、「神宮」と呼ばれます。平成24年4月7日に内宮のまがたま池のほとりに「せんぐう館」が建てられています。緑の山から流れる空気、水。それを豊かな

海の幸にかえる伊勢。どうぞ、三重県に旅をされて下さい。実践の同窓の方は来年こそお集まり下さいませ。

竹腰 葵 TEL 059-352-3334
〒510-0085 四日市市諏訪町 10-14
aoi.takekoshi@gmail.com
takekoshi-mie@docomo.ne.jp

鳥取支部 常田明美 (昭和41年/大食卒)

毎年欠かさずに開催



実践桜会鳥取支部は、平成6年4月に発足以来、平成25年の現在まで19年継続して活動を続けております。

人口最少の鳥取県ですので、会員数は少ないのですが、限られた会員の方たちと毎年欠かさず同窓会を開催いたしております。発足時は戦前に実践に在籍なさっていた会員が数名いらっしゃいましたので、毎年昔の実践についてお話を聞くのが楽しみでございました。

発足当時はお医者様をお迎えして健康について、またいろいろなよもやま話をお聞きする会を何年か続けました。市長さんは2回講師で講演を頂きました。鳥取のユニークな文化人に、面白い研究成果をご披露頂き、楽しい時間を過ごしました。近年は視察研修を兼ねてあちこち出掛けております。

岡山支部 谷本淑恵 (昭和54年/大英卒)

総会は13年連続で快晴!

支部発足13年を迎えた岡山支部。今回は、四季折々の草花が楽しめる“ホテルたけべの森”へ出かけました。参加者は5名と、少数



ではありましたが、食後、皆で山を散策し、山菜取りに来られていた方とお話をしたり、山肌を彩っていた山ツツジを堪能。「毎年、ここでもいいわ!」との声もあったほど。

しかし来年も、またまた楽しい企画を立てますよ! そして…13回目の今日も晴天。13年連続です!

山口支部 原田智津子 (昭和57年/大食卒)

学園の強い絆を実感



山口支部は、平成25年6月9日に支部総会を開催いたしました。梅雨空のすっきりしないお天気でしたが、そんな鬱陶しさを吹き飛ばすような明るく楽しい会になりました。

二年に一度の総会は、年々出席者が減り、今回も8名という少人数ではありましたが、おいしい食事を頂きながら、遠い昔?の学生時代の話で盛り上がり、ご自身の近況などをお聞きしたり、とても楽しく和やかな時間を過ごすことができました。

お会いする度に感じるのは、実践の同窓生という強い絆。次回の総会は再来年になりますが、この絆の輪がもっともっと広がって欲しいと願っております。

愛媛支部 城徳かをる (昭和41年/短生卒)

近況やよもやま話に花が咲く

24年度の総会は、かんぽの宿『道後』で開催いたしました。お互いの近況を話しあいながら、健康づくり、子育て、介護、実体験からくる、アドバイスなど、考えさせられる時間になりました。



お料理は、瀬戸内海のおいしい懐石料理を堪能し、出席者から、布草履、手作りパン、珍しい豆等を全員にいただき、和気あいあいのうちに、諸先輩方との、時間が瞬く間に過ぎていきました。お互いの健康を願いつつ、散会いたしました。

25年10月中旬の(日)に、松山で、総会を開催します。

佐賀支部 溝上智子 (昭和36年/短生卒)

断捨離の話題で大盛り上がり



梅雨の晴れ間、5月30日に支部総会を温泉で有名な武雄市「なかます」にて13名の参加で開催致しました。滞りなく議事進行、終了し、後はフリートーク形式でした。今回は断捨離の話題で大盛り上がり、結論は、体力、気力の有る時の決断力が一番大事ヨー!と私には耳

の痛いことばかりでしたが、経験談には説得力が有り、あっという間の和気藹々の一刻でした。

武雄市には全国の市町村からも注目を浴びている4月に開館した全国初のレンタルチェーン店に運営を委託した公立図書館があります。緑の木々に囲まれお洒落な雰囲気の中でコーヒー片手に読書が出来るという、高齢化社会へ向けての憩いの場にもなりそうな処です。御紹介致します。

次年度は焼きものの里「有田」で開催の予定です。

鹿児島支部 山口圭子 (昭和57年/大食管卒)

先輩方のお話しが楽しみ

私共の支部が発足したのは、昭和20年代後半。これまで、昭和一けた卒業の大先輩から昭和59年卒業生まで、いろいろな世代の方々が支部会に集まっておられました。年々人数が減り、少々寂しい思いをしている鹿児島支部です。

今年2月には、支部会開設から40年余り支部長をお務め下さった小田愛子様(昭和13年卒)が亡くなりました。いつも凛とされていて、下田先生ご健在の頃のご様子を、他の先輩方と一緒に丁寧にお話し下さったものでした。

小田様のお言葉は、まるで下田先生の教えのように感じたものです。社会的にも、人権擁護委員、家庭裁判所調停委員、選挙管理委員等歴任され、一目おかれる尊敬



すべき先輩でした。

6月16日の支部総会は、小田様を偲ぶ会ともなりましたが、昭和14年卒の宮脇登美様が今年もお元気な姿を見せて下さり、幸いにも後輩達は様々な導きを頂戴し、そして小田様の残して下さいたこの会を大切に守っていきたくと心を合わせたひとときでした。

沖縄支部 島袋節子 (昭和41年/短生卒)

大学院大学を訪ねて



本年度の支部総会は去る6月30日、初のバスを貸し切ったの遠出の総会となった。昼食後に定時総会報告、会計報告等を行ったのち、茶道裏千家「もがし庵」幸喜美音子庵主による「国際社会における文化交流『茶道』から～侘びさびの世界への誘い～」についての講演があった。茶の心の真髄にふれた思いだった。幸喜先生には引き続き昨年9月に開学したばかりの沖縄科学技術大学院大学のキャンパスを案内して頂いた。

当学は5年一貫制の博士課程のみで教員と学生の半数以上を外国人とし、公用語は英語。現在、分子・細胞・発生物学、環境・生態学等先端的な学際分野において344名(うち外国人160名)が研究を展開している。一同大満足の日程だった。

ニューヨーク支部 細田美也子 (昭和61年/短大生活文化卒)

マンハッタンで女子会

6月に総会を開催いたしました。マンハッタンにある日本食レストランにて楽しいひと時の、女子会



でした。会員数は、少ないですが、同じ異国の地で暮らしている、実践女子学園の同窓生として、世代を超えての情報交換等、交流しております。

英国支部 松嶋みどり (昭和49年/大被卒)

5名の新会員が加入



東日本大震災から2年を迎えたのを機に、英国による被害地支援に感謝の意を伝えようと、今年3月11日、天皇陛下の言葉を刻んだ石碑の除幕式がロンドン中心部の公園「福島庭園」で行われました。

5月5日、皆で見に行くことにしました。小春日和の気持ちの良い一日となり、散歩におしゃべりに楽しいひと時を過ごすことができました。何よりも今回の告知により5名の新会員が加わり、うち1名が参加してくれたことがうれしいニュースとなりました。

実践ときわ会

科会長:古藤 黎子



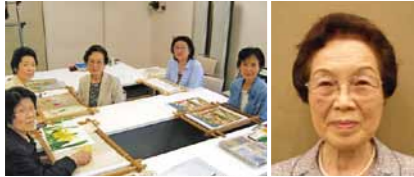
幹事一同、新・成人の会で

4月21日(日)、桜会館にて総会を開催、今年度の事業計画などが承認され、新年度がスタート致しました。

- 年間行事
- 初風緑さんが教える「楽しく作ろう美しい体!」
日時/9月29日(日)午後1時~4時
会場/実践桜会会館
会費/500円
 - 新・成人の会 2014年1月13日(月・祝日) 協賛
 - ときわ会通信発行 年2回
 - ときわ会総会(2014年4月20日 日曜日)
 - 連絡先:TEL&FAX 03-6761-2520 (古藤黎子)

実践技芸科会

科会長:中岡 久恵



日本刺繍の会

技芸科の卒業生は昭和20年で終了し、21年からは被服科会となっております。人数が減少しておりますが、お若い会員も勧誘して、楽しく活動を続けて参りたいとつとめております。

- 年間行事
- 総会・懇親会・作品展示会:
日時/25年4月25日
会場/渋谷エクセルホテル東急6F
 - 会報:「技芸科会だより」45号:
8月1日発行
 - バザー手作り品製作:6月27日
(手さげ、エプロン、お手玉、アームカバー)
 - 古切手収集:古切手を集めて福祉に送っています。
 - 定期講習会:会場 実践桜会会館
ハーダンガー刺繍教室 毎月第2木曜日
染色教室(楓会) 毎月第2火曜日
編物の会 毎月第3金曜日
日本刺繍(萌黄会) 毎月第1・3木曜日
 - 連絡先:TEL & FAX 03-3307-6472 (中岡久恵)

実践被服科会

科会長:松岡久美子



メモリーネッス制作

被服科会平成24年の活動も多くの方々にご参加を頂き終了、ご協力に感謝致します。今年度の総会は実践桜会会館にて開催、奈良女子大所属の山崎明子先生に下田歌子先生の手芸論についての講演をお願い致しました。明治の黎明期に女性統御の先端に立たれていた学祖の偉業を再認識致しました。

今年も3事業を計画、既に2事業が終了しました。輝くひと欄にご紹介されていますように、今年、大川知子さん(平2大被卒)が大学生生活環境学科の准教授として着任されました。卒業生の活躍は大変嬉しいことであり、母校と卒業生の架け橋となって下さることでしょう。なよたけをご覧になっている大学生生活環境学科、短大生活文化専攻Bをご卒業の皆様、自分の所属する科会がないと感じていませんか?ご存知ない方も多いと思います。ご入会を歓迎致します。被服系卒業生の長い縦糸を繋げて参りましょう。

- 年間行事
- 総会・講演会
日時/4月20日(土)
会場/実践桜会会館
講演会「近代日本の手芸一下田歌子の社会構想と手芸」*終了しました
 - 講習会:つまみ細工と江戸蕎麦
日時/6月19日(水)*終了しました
 - 鑑賞会:国立演芸場にて落語ほか鑑賞
日時/9月19日(木)*終了しました
 - 見学会:美術館めぐりとランチ
智美術館と大倉集古館を見学します
日時/1月27日(水) 11:00
集合場所/菊池寛実記念・智美術館入口
参加費/5,000円(昼食代込)
 - 会報誌発行
・歌ごろもニュースNO.17 6月1日発行
・歌ごろも22号 12月1日発行予定
 - ときわ会総会バザー協力品製作
日時/7月20日(土)マカロンコインケースを製作、桜会に寄贈しました。
 - 連絡先 TEL & FAX 03-3721-9378 (松岡久美子)

実践家政科会

科会長:熊切富子



フランス料理講習会

社会の進歩の激しさ速さに驚いております。食物の卒業の方を受け入れる家政科会は、社会の動きをどう見て活動するか大変な時に来ているように思います。企業でも女性の管理者を多く採用、又、理系の女子大に焦点を当て始めている事は、一般女性も向上する努力が大事でしょう。

家政科会では、若い方達を応援そのエネルギーを頂戴しながら共に向上を考えております。フランス料理講習会には、限定の人数ですが助手さんを招待、学生さんは一部支援でお互いに集まれる機会を作り、講演会、コンサートは無料で参加でき、若い方が大変喜んで下さいます。特に田島学長の講話、昨年度の西島教授の「食品の安心な選び方や扱い方」等の講義は古い方達も再度勉強したいとのコールがありました。家政科会は楽しくして終生勉強を考えております。

- 年間行事
- バス見学会
神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春美術館
日時/4月24日8:00集合~18:00
(渋谷商工会議所前)
 - 家政科会たより 5月20日発行
 - 家政科会53回総会
日時/5月26日 10:30総会 11:00学長講話 12:00コンサート(新学長をお迎えして)・(クラシックコンサート)
会場/ホテルニューオータニ
 - 本多京子氏講演会&懇親会
「現代の私達の食生活を考える」
~健康寿命を如何にのばすか~
日時/6月23日 13:00 参加費無料
会場/学園3号館5F
 - フランス料理講習会
日時/9月1日 11:00
会場/ウラクアオヤマ
 - 福祉事業 福祉施設作業用エプロン縫製
日時/9月25日 10:30
会場/実践桜会会館1階
(材料及び昼食用意しております)
 - 観劇会・三越劇場
「婦系図」昼の部
日時/10月20日
 - 歳末助け合いに寄付・海外医療協力会に

- 古切手を寄贈
日時/12月15日
- 新年会
日時/H26年1月22日
会場/ハイアットリージェンシー東京
- 連絡先 TEL&FAX 045-571-0213 (熊切富子)

実践国文科会

科会長:若松幸子



東京寄り道文学散歩

- 会報誌「りんどう」を活動の中心とし、研究、創作、鑑賞など、其々楽しんで興味のある方は大歓迎です。
- 総会 4月27日
記念講演会 文学部 棚田輝嘉教授
「金子みすずの生涯と作品」優しい詩に溢れるみすずのところに感動。
- 東京寄り道文学散歩 6月8日
三島由紀夫の小説「橋くし」の舞台となった新富町・築地界隈散策。七つ橋跡巡りを楽しんだ。

- 会報誌「りんどう」 7月7日発行
- 京都1泊旅行 9月29日~30日
源氏物語宇治十帖の舞台、宇治を尋ね、船上から浮き舟を偲び、平等院・三室戸寺等見学の後、京都祇園泊。
- 学祖祭献香 10月8日(火) 11:00~
- 原民喜評伝『花の幻』の作者に聞く
日時・会場/11月1日(金) 13:00~
実践桜会会館 小野恵美子氏に「りんどう」連載中の逸話ほか
- 狂言鑑賞会
日時/12月14日(土)13:00~
会場/国立能楽堂
- 新年会
日時/26年1月26日(日)
時間・会場は未定
- 講習会・絵手紙の会 実践桜会会館
日時/第3日曜日 13:00~
- 連絡先:TEL 045-543-3963 (若松幸子)

実践英文科会

科会長:山内典子

- 6月9日(日)第37回総会后、大関啓子先生に『中世ロマンス文学とケルト』と題して講演をしていただきました。実践女子学園PJ研究下田歌子研究所所長でもある大関先生



山梨県立美術館にて、歌子先生との英国での巡り会いについてお話をされ、その後、ご専門の中世ロマンス文学について映像を交えて講義して下さいました。

- 年間行事
- 会報誌:「英文科会だより2013」9月発行
 - 見学会 11月13日(水)
はとバスツアー 八景島シーパラダイスなど
 - 新年会
日時/H26年1月26日(日)
会場/銀座「楼蘭」
 - 常設勉強会
輪読会A:第2・第4金曜日 10:30~12:30
輪読会B:第1・第3金曜日 10:30~12:30
会場/実践桜会会館
 - ★平成26年は、英文科創設90周年に当たります。そこで、その記念祝賀会を、新設の大学渋谷校舎をお借りして、開催する予定です。
 - 連絡先:TEL&FAX 045-862-3744 (山内典子)

皆さまのご参加をお待ちしています
実践キャリアネット

- 「実践キャリアネット」は、この度10周年を迎えました。皆様のご支援、ご協力によるものと感謝申し上げます。これからも「仕事」をキーワードとし、世代・学部を超えた実践の仲間とキャリアアップのための勉強会、在学生の就職に向けてのアドバイス等、同窓生の交流の場としてより充実した「キャリアネット」を目指してまいります。現在職業を持っている方、近い将来に就職・再就職を希望する方、後輩のために自分の経験を役立てたい方、メンバーになりませんか。是非、一度セミナー等に参加してみませんか。お待ちしております。

2013年度の活動報告・予定

キャリアネット総会后、講演会を開催

日時/6月16日(土)(会場/桜会会館1階)
講師:山川和子氏 (株)モンテリビエ代表
テーマ 「人生の宝石(ビジョン)を見つける~人生のあらゆる問題に毅然と立ち向かう自信とは~」
*講演会終了後の懇親会では、講師の山川和子氏を交えて近くのお店で楽しいひとときを過ごしました。



セミナー開催予定(最新情報はHPをご覧ください http://www.j-sakura.org)

- 会員外の方も大歓迎です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
- 第1回セミナー 11月16日(土)(於:桜会会館)
講師:実践女子学園中学校高等学校校長 嶋野恵子氏
- 第2回セミナー 2月15日(土)(於:東京国立近代美術館)
講師:東京国立近代美術館研究員 今井陽子氏
*各セミナー終了後、会員相互の懇親会を催します。

- 在学生向け就職相談会 10月19日(土)(於:日野大学校舎内 香雪記念館2F)「ようこそ先輩 ようこそ後輩 “働く”を話そう!」
- 卒業生のための就職相談会 毎月第4土曜日(於:桜会会館)にキャリアカウンセラーが親身になって再就職や就職のご相談に応じます。
*なお11月は第5土曜日です。8月10月12月はお休みです。気軽に桜会事務までご予約ください。

- 実践キャリアネット入会方法
入会申込はいつでも受け付けております。桜会事務局へ、ご連絡ください。(月曜~土曜の9時30分~17時、日曜、祝日を除く)。
TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835
*HPからも申込みができます。http://www.j-sakura.org
[年会費] 2,000円 (入会金は不要)
[振込先]みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 1748354

奨学金給付生 4 名を決定



平成 25 年度選考委員会を 3 月に発足し、規程を基に奨学金給付金と、人数を決めました。25 年度の奨学金給付金額及び人数は、24 年度と同じとし、1 名につき月額 4 万円、年額 48 万円、人数は 4 名としました。

理事会で承認を得てから、ホームページで一般公募するとともに、昨年度応募者のあった大学にも募集をしました。今年度の、応募者は 106 名(15 大学院、14 大学、8 カ国)でした。第一次選考委員会(書類選考)を 6 月 3 日(月)に、第二次選考委員会(面接選考)を 6 月 16 日(日)に行い、4 名の奨学金給付生を決定しました。

なお、選考委員は各役員選出母体から推薦された 5 名と、理事長、常任理事 5 名、計 11 名で構成されております。

本年度も交流会を 2 回開催いたします。第 1 回を 10 月 5 日(土)、第 2 回を平成 26 年 3 月 1 日(土)に、桜奨学金給付生を交えて開催いたします。

ご参加ご希望の方は、実践桜会にお申し込み下さい。

崔 夢僑 サイ ムキョウ

中華人民共和国
東京大学 2 年
教養学部理科 2 類 2 年(平成 26 年度 薬学部に進学)



私はがんを治す夢を持ち、高校卒業後、中国の大学の医学部に進学しました。そこで 2 年間勉強し、がん治療の鍵を握っているのは抗がん剤であることを知り、医者より抗がん剤の研究者になる方ががん治療に貢献できるのではないかと思います。薬学研究が進んだ日本へ留学に来ました。日本で薬開発技術を学んで、将来中国で研究室を組んで、中国産の抗がん剤ができるように力を尽くしたいと思います。

万 幸 バン コウ

中華人民共和国
東京外国語大学大学院 修士 1 年
総合国際研究科 地域・国際専攻



私は学部時代に国際教育学・異文化理解の授業を履修し、諸地域の相互関係と影響がますます強まっていくこの世界をより理解し、より良い生活と平和な国際関係のために東京外国語大学で学ぶことを決意しました。

歴史やステレオタイプが原因で、中日の学生が互いに誤解を持ち、互いに理解し交流を行う機会が少ないのが現実です。修士 2 年間は国際理解学に関する豊かな知識を学び、研究を進めたいと考えています。将来は国際事業を行う機構または NPO に就職したいと考え、中日留学生の友好交流、さらに両国友好関係を促進するため、精一杯頑張りたいと思います。

呉 曉瓊 ゴ ギョウケイ

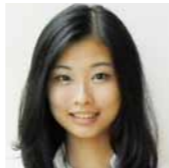
中華人民共和国
東京学芸大学 1 年
教育学部環境総合科学課程 文化財科学専攻



私は博物館を見てまわることが好きです。それで古代に残された遺物と遺跡の保存と修復の研究について勉強するために日本に留学しました。今年から、東京学芸大学の F 類の文化財専攻を勉強することができるようになりました。今も毎週、先生の研究室で、遺物中の鉄の錆を取る作業をやっています。日本の文化財の保存と修復の技術を身につけて、将来自分の母国(中国)に帰って、この技術で母国の文化財・遺物と遺跡を修復したいと強く思っています。

楊 智氷 ヤン ツピン

マレーシア
中央大学 2 年
商学部 金融学科



私は 4 年前に日本にホームステイした経験があり、日本人の勤勉さと生活に対する丁寧さを感じ、それで、高校卒業してから日本への留学を決定しました。大学では、金融関係の専門知識を勉強しています。

日本にいる間、国際的に視野が広がって行って、この世界を認識しながら、自分自身に対して発見し、もっと良い人間になりたいです。留学生として外国での一人暮らしは、未来の私にとって、きっと貴重な経験になると思います。

桜奨学金給付生

大森 光

オオモリ ヒカリ

日本
実践女子学園高等学校 3 年

私が実践女子学園での高校生活の中で学んだことが大きくわけて 3 つあります。それは「責任を果たすということ」、「感謝の気持ちをきちんと伝えること」、「目標を常に持つこと」です。月並みなことかもしれませんが、どれも深く考えるようになり、常に忘れないようにしようと心がけています。

高校生活もあと 1 年を切ってしまいましたが、まだまだ吸収できることはたくさんあります。残された高校生活の 1 日 1 日を大切に生活していきたいです。

実践桜会会館を利用中の
サークルにお邪魔しました

童の会

童話作家 茂市久美子さんも会員

昭和 39 年(1964)
(初の東京オリンピック開催年)に発足した
卒業生のための児童文学研究会



鎌倉にて(昭和 39 年春)

児童文学の講義は二人の児童文学者が…

本校大学と短大の児童文学の講義では、二人の児童文学の実作者であり研究者がいらっしゃいました。一人は福田清人先生(国際アンデルセン優良賞受賞・日本児童文芸家協会会長)、もう一人は那須辰造先生(講談社出版文化賞絵本部門、野間児童文芸賞審査委員、丸善「世界の絵本展」企画協力、文化庁主催芸術祭能楽部門審査委員長)です。児童文学に関心のある女子大生にとっては、わくわくするような時間だったでしょう。

講義以外にも、昭和 37 年から数年間、福田清人先生が中心となり実践女子大学協力のもと、「児童文芸土曜講座」(4 回、実践女子大学・日本児童文芸家協会共同主催)を行っています。学外の児童文学者や研究を知る機会も講義以外に広がりました。

国内海外の児童文学や絵本に強い 那須先生を顧問に、会を発足

卒業生のためのこの会は、在学中の「児童文学研究会」の活動を、卒業後も続けるために、那須辰造先生のもと 4、5 人のメンバーから始まったようです。国内外の児童文学や当時話題になった大人の文学作品も含めて読み、また創作を学んだとのこと。昭和 39 年(1964) 5 月 9 日に読書会を行ったのをきっかけに、同年 10 月には同人誌「まつぼっこ」(まつぼっこの会)創刊号を発刊。以後「松ぼっくり」「赤ずきん」「童」から現在の名前「童の会」となり、通巻 65 号を発行されました。

那須辰造先生ご自身の文学活動は幅広く、児童文学の創作、解説、海外絵本の収集(丸善の「世界の絵本展」



「松ぼっくり」第 1 号 (昭和 44 年 1 月) 「赤ずきん」第 1 号(昭和 44 年 9 月) 「おひさまのテーブルクロス」(茂市久美子著 平成 24 年講談社刊)

には所蔵本の提供や、例えば未翻訳『ぞうのババール』シリーズなど)や小説、仏詩の翻訳、句作や謡曲活動もなされたそうです。那須先生の分厚い文学背景の視点から、それぞれの会員の良さを引き出し、丁寧な指導をされたり、海外の現地で購入した貴重な絵本の閲覧、また児童文学者を訪ねるなどの会の活動が行われたそうです。

児童文学者で実践の大先輩、北畠八穂さんを那須先生の紹介で訪問したことも。(写真上)

那須先生の没年までの号には、先生が翻訳された海外の詩が掲載。創作、文学作品研究や評論、詩など児童文学の幅広さを示し、どこかエレガントさをも感じます。先生の訳詩は没後、私家版『インキびん—少女のために—』が 1982 年に発行されました。

会員からのメッセージ

30 号(昭和 60 年)では、会員の菅家さんが那須先生の言葉を載せています。<女性が長生きする時代になり、自分のライフワークを持っていないと、その後の人生がつまらないものになる。今いい作品が書けなくても、人生経験を積んで 40 歳過ぎによい作品が書ければいいのだから>と。会員の活動分野は違いますが、児童文学研究会「童の会」で得た言葉を次々と発して下さいました。少しご紹介いたします。<人間を描く><作品のよい方向を探す><一人の人物を育てる><書き直すこと><現実に根ざしたファンタジー>などなど、<児童文学に関心のある卒業生は「童の会」に声をかけてください。お待ちしております!>

作品に取り組む熱い心を感じました。



会員の皆さん



学祖祭 10月8日(火)

- 護国寺墓参
- 実践桜会会館にて祭壇を設け参拝、下田歌子先生を偲びます。
- 国文科会との共催による献香

総務部

●地区懇談会の報告

日時:9月7日(土)
会場:仙台国際ホテル
*人間国宝 山本邦山による「尺八に遊ぶ」と題した講演、コンサート
*学園関係者、実践桜会及び仙台支部による懇談会
*実践女子大学、短期大学後援会との懇親会

文化部

●実践桜会バザー開催

日時:10月26日(土)・27日(日) 9:30～15:30
会場:中高体育館内ギャラリーアリーナ
全国各支部の特産品、雑貨、科会・会員の皆様の手作り品など沢山のご寄贈品が並びます。
皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。
*ご寄贈品の提供のお願い
受付:10月20日(日)まで
・鮮度を要する食品は10月24日(木)まで
・手作り品など1個からでも大歓迎です。
・記念品販売(オリジナルクリアファイル、お茶他)

●初春歌舞伎観劇会

日時:2014年1月12日(日)
場所:国立劇場
演目:通し狂言「三千両初春駒曳(さんぜんりょうはるのこまひき)」五幕
出演:尾上菊五郎、松緑、菊之助、中村時蔵他
・チケット代1万円(含お弁当、解説イヤホン)
お申し込みは、実践桜会文化部へ
TEL 03-3407-7459
FAX 03-3499-0835

財務部

●会費納入のお願い

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納のかたは、振込用紙にてゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。また、下記の銀行口座をつかい、銀行振り込みもご利用ください。
みずほ銀行 渋谷中央支店(162)
口座 番号 普通 1189795
一般社団法人教育文化振興実践桜会
なお、振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835
*いずれの場合も会員番号のご記入をお願い致します。

実践桜会会館利用サークルのご紹介

サークル名	活動曜日	主な内容
アトリエ染花	第1日曜日	工芸・飾り花
編み物の会	第3金曜日	工芸・編み物
実践桜会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁
英文輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文輪読会B	第1・3金曜日	英文学
実践絵手紙の会	第3日曜日	絵手紙
かえで(楓)会	第2火曜日	染色
桂泉会	月2回土曜日	華道古流
香友会	不定期	香道
古典を読む会	第2・4月曜日	日本文学
桜書道教室	第1・3土曜日	芸術・書道
下田歌子先生の著作を読む会	第4日曜日	研究会:下田先生を広く知る
山川園松箏曲教室	月2回土曜日	山田流箏曲
童の会	第1日曜日	文学・児童の研究と創作
十八の会	第4月曜日	懇親会
ハーダンガーの会	第二木曜日	工芸・ハーダンガー 刺繍
ビーズの会	不定期	工芸・ビーズ
北欧刺繍に親しむ	不定期	北欧刺繍
マンドリンクラブOG会	不定期	音楽・マンドリン
実香会	第3土曜日	香道
萌黄会	第1月曜日・第4木曜日	日本刺繍
日本ギャスケル協会	第1又は第3日曜日(不定期)	ギャスケルの研究
日本バーナードショー協会	不定期	バーナードショーの研究
ばらの会	不定期	手作りの会

2013.09 現在 / お問い合わせは会館事務局へ

ホームカミングデーのお知らせ



○実践女子学園中学校高等学校(渋谷校舎)
日時:平成25年10月27日(日)
9:00～16:00(ときわ祭開催中)
※ 歓迎セレモニー・懇親会 14:00～15:00
会場:3館5階会議室
連絡先:実践女子学園中学校高等学校事務部
住所:〒150-0011 渋谷区東1-1-11
TEL 03-4409-1771

○実践女子大学・短期大学(日野:大学校舎、短期大学校舎)
日時:平成25年11月9日(土)
受付:大学、短期大学校舎 10:00～(常磐祭開催中)
懇親会:14:00～16:00
会場:大 学:香雪記念館2F 会議室(大学卒業生対象)
短期大学:本館401、402 教室(短期大学卒業生対象)
「短期大学記念の集い—神明校舎 ありがとう、そしてさようなら—」
※平成26年4月から、大学の文学部・人間社会学部、短期大学の文系学科は渋谷キャンパスで、短期大学食物栄養学科は日野キャンパスで新たな出発をいたします。
平成26年3月以降、短期大学の神明校舎は取り壊す予定です。この機会に是非お訪ねください。本年度は大学、短期大学それぞれに懇親会を中心に開催いたします。
連絡先:実践女子学園 総合企画部
住所:〒191-8510 日野市大坂上4-1-1
TEL 042-585-8804

実践女子学園PJ研究所

●下田歌子研究所主催 交流談話会 第三回「歌子さんの集い」
日時:11月17日(日) 13:00～15:00
会場:岐阜県恵那市岩村町 岩村振興事務所
内容:
1. 著作紹介「大陸における『新撰家政学』」関登美子(実践女子学園高等学校教諭)
2. 研究発表「母平尾房子について—『四十四日の記』と旅先からの手紙より」
愛甲晴美(福生市立中央図書館嘱託職員)
3. 講演「ふるさと岩村に錦を飾った下田歌子—顕彰碑除幕式の『隋行記』より」
鈴木隆一(実践女子学園岩村親善大使)

●食の風景プロジェクト研究所
＜食の風景プロジェクト研究所展示会＞
展示会「菓子の誘惑・外食の魅惑」
日時:10月21日(月)～11月2日(土) 11:00～18:00
期間中休館なし
会場:香雪記念資料館
内容:和菓子のデザイン帳、和菓子の木製型、飴の歴史、外食・菓子の報条
＜ワークショップ＞
「落雁を作りましょう」昭和初期までに使われていた木製の菓子型をつかって作ります。
会場:実践女子大学 桜ホール2階
20名先着順、参加費無料、エプロンをご持参ください。
申込先:食生活科学科 木川 TEL 042-585-8882

公開市民講座

○ダイバーシティ社会の創造
～教育の場で、企業で、社会でそれにとりくめばよいのか～

日時	テーマ	講師
10月5日(土) 14:00～15:30	なぜ実践女子大学は「ダイバーシティを始めたか」～ジェンダーダイバーシティと男女共同参画の近似性～ なぜ企業はダイバーシティに関心を示すのか	鹿嶋 敬 (本学人間社会学部教授)
10月12日(土) 14:00～15:30	企業はどうダイバーシティを浸透させようとしているのか～アステラス製薬の取り組み 企業はどうダイバーシティを浸透させようとしているのか～あいおいニッセイ同和損害保険の取り組み ディスカッション	アキレス美知子(NPO法人GEWEL 理事・前資生堂執行役員) 矢野肇作(アステラス製薬株式会社人事部ダイバーシティ推進チームリーダー) 福岡藤乃(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社人事部ダイバーシティ推進室長) 矢野肇作、福岡藤乃、鹿嶋 敬
10月19日(土) 14:00～15:30	政府はダイバーシティとどう取り組んでいるか 対談:ジェンダーダイバーシティが少子化など社会的難問を解決する	坂本里和(経済産業省経済産業政策局経済社会政策室) 坂本里和、鹿嶋 敬

会場:実践桜会会館 入場無料、事前申し込み不要

○新しい日野キャンパスの構築に向けて
～暮らしのデザイン～

日時	テーマ	講師
10月26日(土) 13:00～14:30	「豊かな食生活を営むデザインとは」 庶民の愛した江戸の前の味 食器の絵柄とおいしさ	大久保洋子(前生活科学部長・元食生活学科教授) 数野千恵子(食生活学科教授)
11月16日(土) 13:00～14:30	「子育てを豊かにする生活のデザイン」 子どもの健やかな成長を促す家庭や保育での環境のあり方、子どもの発達段階に応じた家族や友だちとの関係の持ち方など、子育てを支援するデザインを提案します。	松田純子(生活文化学科准教授) 高垣マユミ(生活文化学科非常勤講師)

会場:実践女子大学香雪記念館 大教室 入場無料、事前申し込み不要

【総務部】

- 1) 定時総会、臨時総会、理事会 15 回、常任理事打合せ会 10 回、委員会 2 回
 - 2) 9 月 8 日 大学・短期大学後援会 / 実践桜会 共催 公開市民講座 地区支部との懇談会開催(新潟)
 - 3) 10 月 6 日 学祖祭:護国寺墓参及び香雪記念室内 祭壇参拝 実践桜会会館内祭壇設置参拝、国文科会による 献香
 - 4) 入学、卒業祝記念品贈呈(大学院・大学・短大・高校・中学)
 - 5) その他学園等の行事に参加
 - 6) 11 月 10・11 日 大学・短大「常磐祭」に参加
 - 7) 各支部・各科系列主催の講演会等に随時参加
 - 8) 事務局運営
 - 9) 協力団体への助成事業
- [総務部一会員部]
コンピューターによる会員サービス事業(名簿管理)
[総務部一会館管理部] 実践桜会会館・日野分室の点検、整備、宮繕
(1 年点検後、修繕箇所あり)

【事業部】

- 1) 学園助成金贈呈(5 月 19 日)
- 2) 実践桜会奨学基金給付:大学・短大・高校各 1 名計 3 名給付
- 3) 実践桜会国際交流基金給付: 4 名(奨学生交流会実施 10 月、3 月)
- 4) 社会活動助成金支給:学園関係 1 団体、12 支部、5 科会、他 1 団体
- 5) 大学・短大「常磐祭」へ協賛金支給・桜会賞贈呈
- 6) 結婚相談(第 2、第 4 土曜日)
- 7) 生涯学習活動支援



大食 S41 卒クラス会



第 51 回三七会

- 8) 貸室業務
- 9) 実践桜会所蔵図書の貸出及び整備・購入

【文化部】

- ・実践桜会バザー開催(実践女子学園中高体育館 ギャラリーアリーナ会場にて) 10 月 27 日(土) 28 日(日)
- ・初春歌舞伎観劇会開催(国立劇場) (H25 年 1 月 14 日)
- ・記念品販売(オリジナルクリアファイル、お茶他)

【広報部】

- 1) 「那与竹」第 75 号発行(4 月 1 日)
- 2) 「なよたけ情報版」No.18 発行(10 月 1 日)
- 3) 実践桜会公式ホームページ管理・運営

【キャリアネット】

- 1) 運営委員会 毎月 1 回 開催
- 2) 総会と講演会 (6 月 16 日) 「仕事と育児(人生)どちらも素敵 ～ワーク・ライフ・バランス～」
講師: たけなが かずこ氏 マザ-リング & ファミリーナ-シング 研究所 所長、一般社団法人日本医療接遇協会理事長
- 3) セミナー開催
・11 月 17 日 「働き続けるための戦術を身につける! ～百貨店系、商社系、外資系で得た 35 年間のキャリア～」
講師: オットージャパン(株)執行役員 小西 淑子氏
・2 月 23 日 「アロマと暮らす。しなやかに生きる。わたしの“Speciality”はなに? キャリアとライフワークをつなぐために」
講師: Stilla アロマセラピースクール主催 富田 ゆか氏
- 4) 在校生就職支援相談会開催(10 月 20 日) 「ようこそ先輩、ようこそ後輩 “働く”を話そう!」
- 5) 卒業生のための就職・転職相談会開催(毎月第 4 土曜日)

平成 24 年度会館利用状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

月	件数	人数
4	33	350
5	31	274
6	42	396
7	26	211
8	11	80
9	38	312
10	29	217
11	45	452
12	24	220
1	27	207
2	33	267
3	32	244

合計 371 件 3230 名

貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	496,411	329,724	166,687
普通預金	17,649,995	18,871,402	△ 1,221,407
流動資産合計	18,146,406	19,201,126	△ 1,054,720
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預金その他			
普通預金	0	13,070,757	△ 13,070,757
定期預金	27,966,601	14,895,844	13,070,757
基本財産合計	27,966,601	27,966,601	0
(2) 特定資産			
実践桜会奨学特定資産	12,250,000	13,150,000	△ 900,000
国際交流特定資産	58,200,000	60,000,000	△ 1,800,000
退職給付引当資産	904,568	904,568	0
特定資産合計	71,354,568	74,054,568	△ 2,700,000
(3) その他の固定資産			
定期預金等	52,480,000	51,170,000	1,310,000
減価償却資産			
建物	68,486,583	69,889,038	△ 1,402,455
建物附属設備	27,921,152	29,950,496	△ 2,029,344
什器備品等	1	80,189	△ 80,188
その他固定資産合計	148,887,736	151,089,723	△ 2,201,987
固定資産合計	248,208,905	253,110,892	△ 4,901,987
資産合計	266,355,311	272,312,018	△ 5,956,707

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	2,111,893	0	2,111,893
前受金	3,756,000	3,758,000	△ 2,000
預り金	21,659	15,200	6,459
流動負債合計	5,889,552	3,773,200	2,116,352
2 固定負債			
入会予納金	52,480,000	51,170,000	1,310,000
退職給付引当金	904,568	904,568	0
固定負債合計	53,384,568	52,074,568	1,310,000
負債合計	59,274,120	55,847,768	3,426,352
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	98,416,601	101,116,601	△ 2,700,000
指定正味財産合計	98,416,601	101,116,601	△ 2,700,000
(うち基本財産への充当額)	(27,966,601)	(27,966,601)	0
(うち特定資産への充当額)	(70,450,000)	(73,150,000)	△ 2,700,000
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	207,081,191	216,464,250	△ 9,383,059
負債及び正味財産合計	266,355,311	272,312,018	△ 5,956,707

(単位:円)

正味財産増減計算書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

科目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	18,585	43,248	△ 24,663
特定資産運用益	48,314	183,357	△ 135,043
受取入会金	12,990,000	14,060,000	△ 1,070,000
受取会費	13,586,000	14,552,000	△ 966,000
事業収益	5,846,241	4,702,153	1,144,088
受取寄付金	4,281,921	2,158,888	2,123,033
雑収益	763,446	12,644,201	△ 11,880,755
経常収益計	37,534,507	48,343,847	△ 10,809,340
(2) 経常費用			
事業費	33,471,714	28,941,000	4,530,714
管理費	10,717,694	18,831,936	△ 8,114,242
経常費用計	44,189,408	47,772,936	△ 3,583,528
当期経常増減額	△ 6,654,901	570,911	△ 7,225,812
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	28,158	9,893,818	△ 9,865,660
経常外費用計	28,158	9,893,818	△ 9,865,660
当期経常外増減額	△ 28,158	△ 9,893,818	9,865,660
当期一般正味財産増減額	△ 6,683,059	△ 9,322,907	2,639,848
一般正味財産期首残高	115,347,649	124,670,556	△ 9,322,907
一般正味財産期末残高	108,664,590	115,347,649	△ 6,683,059
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	18,585	43,248	△ 24,663
特定資産運用益	48,314	183,357	△ 135,043
一般正味財産への振替額	△ 2,766,899	△ 226,605	△ 2,540,294
当期指定正味財産増減額	△ 2,700,000	0	△ 2,700,000
指定正味財産期首残高	101,116,601	101,116,601	0
指定正味財産期末残高	98,416,601	101,116,601	△ 2,700,000
III 正味財産期末残高	207,081,191	216,464,250	△ 9,383,059

(単位:円)

平成 25 年度予算書(正味財産増減計算書)

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

科目	予算額	前年度補正予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	28,000	28,000	0
特定資産運用収益	72,000	72,000	0
受取入会金	14,000,000	13,700,000	300,000
受取会費	13,700,000	13,200,000	500,000
事業収益	6,700,000	6,610,000	90,000
受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
雑収益	600,000	600,000	0
経常収益計	36,600,000	35,710,000	890,000
(2) 経常費用			
事業費	31,965,000	35,115,000	△ 3,150,000
管理費	12,605,000	12,555,000	50,000
経常費用計	44,570,000	47,670,000	△ 3,100,000
当期経常増減額	△ 7,970,000	△ 11,960,000	3,990,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,970,000	△ 11,960,000	3,990,000

(単位:円)

告 知 板

♥結婚相談室♥

相談日:原則として毎月第2、第4土曜日

10:30～16:00

休室:8月第2土曜日、10月・12月第4土曜日

特別相談日:10月第3土曜日、11月第4土曜日(祝日)

会場:実践桜会会館

入会資格:本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女

入会金:2万円、その他書類代として1千円

入会時にお持ち頂くもの:入会ご希望の本人自筆の履歴書、写真5枚(本人のみ、スナップ可)

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は相談日にお問い合わせ下さい。

連絡先:TEL 03-3407-7459 (実践桜会会館)

ハーダンガー刺繍教室

ハーダンガー刺繍は、布目を拾って糸を渡し、繊維をカットして、ステッチをかけていくだけの簡単な手法で、お若い方から上は90才、花びん敷から壁掛、テーブルセンター、ピアノ掛とお好みの作品を楽しんでいます。教室内は、夫々の色どりやデザインで、とても華やかであります。どうぞご覧になってください。

講習日:毎月第2木曜日 11時から3時

会 場:実践桜会会館 104号室

講 師:坪井初代先生

会 費:1回 1,500円

持参品:あれば先の切れる小鋏

材 料:針、糸その他材料は教室で準備します。



実践桜会囲碁教室

—囲碁はボケ予防の妙手—

「囲碁はボケ予防の妙手」という本を読みました。これは

医者が、囲碁がボケにどのように関わっているかをまとめた本です(金子満雄/河出書房新社/2,000円)。実際に囲碁によってボケが良くなる



柳川先生による個別指導

事例があります。年を重ねたら囲碁を楽しみ、右脳(囲碁は右脳を使う)を活性化し、質の高い生活を送りたいものです。皆様は、ボケなど無縁の方々でしょうが、備えあれば憂いなし。さあ始めてみましょう。アマ6段の柳川先生が、優しく指導して下さいます。卒業生のご参加をお待ちしています。(S.M)

教室開催予定日時

10/21、10/28、11/11、11/25、12/9、12/16、

1/20、1/27、2/10、2/24、3/10、3/24、13:00～16:00

会 費:一回 1,000円

教 室:実践桜会会館

講 師:柳川正興(アマ6段)

連絡先:TEL 03-3407-7459 (実践桜会会館)

実践桜会会館・貸室のご案内

明るい新会館をクラス会、サークル活動、各種打ち合せ等にお気軽にご利用ください。詳細は実践桜会事務局(TEL:03-3407-7459)へお問い合わせください。



輪読会



日本ギヤスケル協会

【編集後記】

●5月に始めた「なよたけ情報版 No.19」の製作が大詰を迎えた9月初め、2020年オリンピック東京開催決定のニュースが入り、震災後沈みがちだった日本に活気が出てきました。これが震災復興支援につながることを期待します。ご執筆くださった皆様、ご協力くださった方々に厚く御礼申し上げます。(YT)

●会員の皆さまとのコミュニケーションをもっと深めたいと、今回、関西支部をお訪ねしました。支部の皆さまと親しくお話をさせていただく中で、学園に対する愛着、みなぎるパワーに圧倒されました。「輝く人」にご登場いただいた女優の渡辺美佐子さんのように、私も輝き続ける人でありたいと思います。また、代議員制など時代の変化に対応していく大切さも痛感しました。(ST)

【寄附者ご芳名】(敬称略)

秋田支部、鷺崎千春、佐野滋、中ノ目佼子、八ッ橋宣子、井原徹、大学後援会、田島眞、串崎扶美子、和田会計事務所、福村和子、中高父母の会、吉井弘子、中岡久恵、大食S41卒クラス会、高良ますみ、宮崎由利子、浦上淳子

*ご寄付は随時、受け付けております。

編集・発行:一般社団法人教育文化振興 実践桜会

編集・発行人:浦上淳子

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

HP:http://www.j-sakura.org

広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

振込口座:東京 00190-0-23848 転居された場合はご連絡ください。

印刷:凸版印刷

ホームページに掲載する投稿記事や写真をお寄せ下さい。広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

会費納入のお願い

実践桜会は皆さまの会費で運営されています。年会費2,000円の納入をよろしくお願ひします。

転居・改姓等をされた方及び会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、会員番号をご確認の上、実践桜会事務局(TEL:03-3407-7459、FAX:03-3499-0835)までご連絡ください。